関西航空少年団 機関紙
BE AIR ビー エアー

5th.Flight Nov.23.2023 REI-Wa V

5

高校生
大学生
大歓迎!!

大空にめちゃくちゃでっかい夢を描こう

2024年度 関西航空少年団

新入団員募集

新規団員30名大募集!!

ブルーインパルスを関空の空に
みんなで夢をカタチに、みんなにエールを

令和４年度入団式

ホームページからフェイスブックページ・インスタグラムをご覧いただくと、私たちの思いや活動内容をより深くわかっていただけると思いますので、ぜひご覧ください！

HomePage　facebook　Instagram

【応募資格】 2024年度　ジュニア隊（新小学4年生～中学2年生）　/ シニア隊（新中学3年生～）　/ リーダー隊（大学生～）
ホームページまたはP.57記載の活動趣旨及び費用並びに依頼事項に同意していただけるご家庭・ご本人。

【応募方法】 ホームページをご覧いただき、所定の書類を作成の上、郵送にてご応募ください。

【入団式】 2024年4月14日（日）10：00～　（予定）
関空展望ホールSky View 4階スカイデッキ

応募〆切　2024年2月2日（金）　消印有効

一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構 航空少年団　関西航空少年団
https://sfakansai.jimdofree.com

詳しくはP.57、もしくはホームページをご覧ください。
関西航空少年団　検索

ごあいさつ

NPO法人 TEAM KIX Aviation
代表理事
橋渡 園子
Hashido Sonoko

共に成長し、夢を叶えられる団体へ

私達、関西航空少年団は、来年30周年を迎えることになります。多くの支援者、団員及び保護者の前向きなご協力の賜物です。数年間、制約を課せられたコロナ禍においても、停滞する事なく今できる事を最大限に考え、行動してこれたことも皆様のお陰様だと感じております。
2020年より開始した空のエールプロジェクト事業でNPO法人TEAM KIX Aviationを設立し、たくさんの課題はありますが新たなコミュニティのあり方を考え、柔軟に子ども達が多様にチャレンジできる事を応援していきたいと存じます。
まだまだ歩き出したばかりの団体ではありますが、皆様と共に組織を成長させ、夢を叶える団体にしていきたいと存じますので、変わらぬご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

関西航空少年団 団長
越智 友輝
Ochi Tomoki

航空少年団員として力を尽くす

我々関西航空少年団は、その復活からコロナ禍を乗り越えた現在に至るまで、その歩みを止めることなく突き進んできました。それは、定例的な活動にとどまらず、ブルーインパルスを大阪関西に招致する活動など、地方と国を動かすようなプロジェクトまで推進させていただいております。
航空少年団の一角を担う関西航空少年団として、これからも地域社会及び航空業界を盛り上げてまいる所存です。関西航空少年団とNPO法人TEAM KIX Aviationのすべての活動は、ご支援くださるすべての方々のお力添えで成り立っていることを団員一同忘れることなく、力を尽くしてまいります。

関西航空少年団 副団長
藤田 純子
Fujita Junko

「夢」「挑戦」「成長」「自律」「感動」

日頃より関西航空少年団の活動にご理解とご支援、ご協力いただきありがとうございます。
私はコロナ禍の2021年、団員たちが掲げる「空のエールプロジェクト」に感銘を受け入団致しました。航空知識、体験活動、奉仕活動、他団体との交流などを通じて、団員と共に学び、共に汗し、熱意をもって臨めば難しいプロジェクトも大きな成果に繋がることを実感しています。特にブルーインパルス招致活動で団員たちは飛躍的な成長を遂げています。
これからも団員一人ひとりの個性を尊重し、多様な活動を通じてリーダーシップや協力心、好奇心や柔軟性等の醸成に尽力したいと思います。さらなるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大阪府知事
吉村 洋文
Yoshimura Hirofumi

皆さん、こんにちは。大阪府知事の吉村洋文です。
2025年大阪・関西万博の開催が迫る中、来年には、関西国際空港開港30周年という節目を迎えます。この記念すべき年に、関西航空少年団の皆さんの「ブルーインパルスを大阪に招致し、人々に夢・感動を伝えたい！」という熱い思いが実を結び、このブループロジェクトが実現することを願っています。
皆さんの元気溢れる活動を心より応援するとともに、関西航空少年団の益々のご発展とご活躍を祈念いたします。

関西空港対岸都市首長・関西航空少年団名誉顧問ご挨拶

泉佐野市長
千代松 大耕
Chiyomatsu Hiroyasu

関西航空少年団機関紙「BE AIR 5th Flight」のご発刊、誠におめでとうございます。
関西航空少年団の皆様は、「ブループロジェクト」を通じて、コロナ禍からその後においても引き続き、空からエールを送ろうと、様々な活動に熱心に取り組んでこられ、その姿勢には、改めて敬意を表する次第でございます。
また、関空開港３０周年、そして大阪・関西万博を目前に控え、皆様の活動は、地域に大きな光をもたらしてくれるものとご期待申し上げるとともに、今後益々のご活躍とご健勝を心から祈念いたします。

高石市長
畑中 政昭
Hatanaka Masaaki

高石市長の畑中政昭でございます。
この度は、「関西航空少年団機関紙BE AIR 5th Flight」の発刊、誠におめでとうございます。
関西航空少年団におかれましては、野外活動や奉仕活動による航空宇宙の知識の修得、また、活動を通じた地域活性化に取り組まれていることに心から敬意を表します。
今後もブループロジェクトの実現に向けて、さらなる活動を展開することで、航空業界をはじめとした様々な分野で活躍する人材が生まれることを期待しております。

和泉市長
辻 宏康
Tsuji Hiromichi

「BE AIR 5 th Flight」の発刊、おめでとうございます。
コロナ禍により落ち込んだ旅客数がようやく回復傾向にある中、航空関連の学習や体験のみならず、社会貢献活動や他団体との交流を通じて、航空業界で活躍する人材の育成や南大阪の活性化に取り組まれる貴団体の活動に、心から敬意を表します。
2024年の関西国際空港開港30周年、2025年の大阪・関西万博に向け、ブルーインパルスが大空を舞い、子どもたちに夢や希望を抱いていただくとともに、南大阪の賑わい創出につながることを期待しています。

岸和田市長
永野 耕平
Nagano Kouhei

岸和田市長の永野耕平でございます。
「BE AIR 5th Flight」を発行、おめでとうございます。
関西航空少年団の皆さまには、さまざまな訓練やプロジェクトを通じて、大空に憧れるこども達の夢の実現に向けて活動されていることに頼もしく感じています。
先に発行の「BE AIR 4th Flight」では、活動の紹介や空港で活躍する特殊車両の記事など、興味のあるものでした。また、メンバーのレポートでは充実した報告に感心しました。今回も楽しみにしています。
結びに、皆さまの活動の輪がさらに広がり、ブループロジェクトをはじめ、こども達の夢が達成されますことを心よりご期待申し上げます。

泉大津市長
南出 賢一
Minamide Kenichi

みなさん、こんにちは。泉大津市長の南出賢一です。
関西航空少年団機関紙「BE AIR 5th Flight」の発刊、誠におめでとうございます。
関西航空少年団の皆様におかれましては、日常生活では体験することのできない様々な活動を通じ、未来を担う子ども達の育成にご尽力いただいていることに対し敬意を表します。
また、TEAM EXPO 2025共創チャレンジにも登録されているブルーインパルス招致に向けての多大なるご尽力に、心から敬意と感謝を申し上げます。是非、夢を実現し、関西国際空港ならびに泉州地域、大阪を盛り上げ、2025年に開催を控えた大阪・関西万博への大きな弾みとなるよう、泉大津市としても心から応援しています。
関西航空少年団の今後益々のご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

貝塚市長
酒井 了
Sakai Ryou

関西航空少年団の皆様におかれましては、航空関係の知識の学習や関西国際空港を活用した地域活性化の活動に深く敬意を表します。
関西航空少年団の若い皆様のアイデアでブルーインパルス展示飛行招致に取り組まれていることを頼もしく感じております。
ブルーインパルス展示飛行招致が実現されれば、間近に観覧することができる二色の浜周辺で、地域関係団体などと協力し、関連するイベントができればと考えているところです。
皆様の活動を通じて、子どもたちの心に大きな「夢」や「希望」が育くまれることを心から願っております。

泉南市長
山本 優真
Yamamoto Yuma

みなさん、こんにちは。泉南市長の山本優真です。
「BE AIR 5th Flight」の発刊、おめでとうございます。
関西航空少年団の皆様における様々な活動に深く敬意を表します。
また、関西航空少年団の皆様が規律訓練、奉仕活動、飛行体験などの団体活動で得られた知識、交流、経験を活かして航空業界のみならず、地域や日本の人材育成をはじめ、幅広い分野、領域における希望の架け橋となって活躍されますことを、期待しております。

阪南市長
水野 謙二
Mizuno Kenji

みなさん、こんにちは。
阪南市長の水野 謙二でございます。
この度は、機関紙「BE AIR 5th Flight」ご発行、誠におめでとうございます。
航空を題材とした学習・体験や野外活動など子どもたちが自らを育み、互いに支え合う様々な活動をされておられることに敬意を表します。
若い皆さんが近い将来に航空業界等でご活躍されることを楽しみにしています。今後ますますのご発展を期待し、私からのメッセージとさせていただきます。
―子どもたちの夢をのせ、大空へ―

田尻町長
栗山 美政
Kuriyama Yoshimasa

関西航空少年団機関紙「BE AIR 5th Flight」の発刊、誠におめでとうございます。
関西航空少年団の皆さまにおかれましては、航空関連の学習だけでなく、航空業界や地域を盛り上げる「ブループロジェクト」をはじめとした様々な活動に取り組んでおられることに、敬意を表します。
～子どもたちの夢を大空に描こう!～
「ブループロジェクト」は、この１年で大きく前進し、本当に嬉しく思っております。2024年の関西国際空港開港30周年の大きなプロジェクトに向けて、地元自治体として、できる限り支援していきたいと考えております。
皆さまの更なるご活躍を心より願っております。

熊取町長
藤原 敬司
Fujihara Toshiji

関西空港少年団機関誌BE AIR 5th Flight 発刊おめでとうございます。
この関西空港を望む泉州より、新時代の大空へ向け、青少年の夢や希望を翼に載せ、貴団体が示される大義と取り組みに深く敬意を表すとともに感動を覚えます。
さて、青少年が新たな未来予想図と羅針盤を手に、夢を描く姿は頼もしく勇ましく感じるとともに、青少年が夢の先へ踏み出そうとする時、我々が夢への後押しをすべきであると考えます。
今後も、青少年が自由に大志を抱くことが出来る、そんな安全で安心な世界であることを、強く望む次第です。
結びに「僕たちと一緒にみんなに夢と感動を！　Blue project」の実現と地域の活性化に大きな躍動と影響があらんことを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

忠岡町長
杉原 健士
Sugihara Kenji

みなさん、お元気でしょうか。日々、大空へのあこがれを胸に抱いて一生懸命活動されていることと思います。また、指導者をはじめ関係者みなさまには、子どもたちの成長を願う活動への献身的なご尽力に心から敬意を表します。
さて、先日、来年9月の関西国際空港開港30周年と大阪・関西万博開会式でのブルーインパルスの飛行招へい支援活動で役場に来られました。私たちも、泉州の魅力溢れるまちづくりに日々取り組んでいるところであり、招へいには、大きな期待を抱いているところです。
しかし、何より感動したのは、真剣に思いを語る皆さんの姿とキラキラと輝くような瞳でした。皆さんの夢が実現できますよう、支援をして参りたいと思います。どうか体に気をつけてください。
また、お会いできることを楽しみにしています。

岬町長
田代堯
Tashiro Takashi

関西航空少年団機関紙「BE AIR 5 th Flight」のご発刊、誠におめでとうございます。
関西航空少年団の皆様におかれましては、日頃から次代を担う人材育成や、様々な社会貢献活動にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。
また、2025年大阪・関西万博が近づいてまいりました。本町といたしましても、南大阪地域の更なる発展のため、次代を見据えたまちづくりに努めてまいります。
関西航空少年団の皆様の更なるご活躍、また「ブループロジェクト」の実現を心より祈念致します。

SFAKANSAI HISTORY TIMELINES since2021

関西航空少年団　飛躍の軌跡Vol.序

2021

1.22
みんなのチカラをエールに

空港のある地域の個人、団体、企業、学校、行政等、それぞれが、それぞれの持ち味で、様々なカタチで、航空業界にエールを届ける**空のエールプロジェクトの「玖の矢」を始動。**

4.28
全国の航空業界にDear Sky発送

4月18日に発行した**Peach初のチャーターフライト「空飛ぶ航空教室」**を記念する空のエールプロジェクト記念誌　DearSky 1st Flightを**全国の航空業界と航空自衛隊基地、そして防衛省航空幕僚監部にエールに代えて発射。**

7.1
ブルーインパルス招致活動再燃

実現する為には**国に直接働きかける政治力が必要**であることを痛感し、戦略の転換を検討。

7.20
ブルーインパルスと繋がった瞬間

政治力よりストーリー性を重視する戦略を貫き通したいと葛藤していた矢先に、意中の方から奇跡的な１通のメールを受信。ブルーインパルス展示飛行の選定等を司る防衛省　航空幕僚監部の広報室長。内容は、**防衛大臣に送付した手紙、航空幕僚監部に送付した記念誌Dear Skyについて面談要請。**

9.19
空のエールフェスティバルオンライン開催

「拾の矢」として**団員達主体で企画してきたコロナ禍終息から飛躍に向けたイベント**「空のエールフェスティバル」は、緊急事態宣言発出でオンラインの縮小開催。来年の空の日をめざして再始動。

9.20
令和3年度入団式は個別戴帽式挙行

11.28
ブルーインパルス発祥の地訪問

1.31
飛行神社からご支援

活動をご支援いただき、**ブループロジェクトを広報するビラ制作に着手。**同時に、**ブルーインパルス招致活動に関する体験談の情報提供。**

2.11
BE AIR 3rd Flight Blue Report Vol.1同時発行

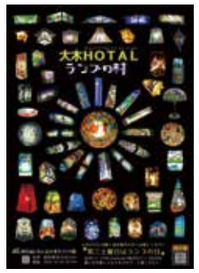
2.15
大阪府にブループロジェクト要望

3.28
集大成となる最後の矢始動

感染症拡大中の為、オンラインで1月30日、2月13日に団員会議を開催し、**空のエールプロジェクトの集大成となる「拾の矢」の企画立案と協議**を実施し、3月6日に役員へのオンラインプレゼンを実施。
3月定例活動において、**空の日の運営に関わる関西エアポート株式会社様に団員達がリアルで企画内容をプレゼン。**

7.2
玖の矢にランプの村プロジェクト参画

みんなのまちづくり隊が、空港のある空の街として、**傷ついた航空業界の翼と心を癒すことをはじめ、ポストコロナ時代を見据え、市内・国内でのツーリズムから国際的なツーリズム、そして、未来のまちづくり**を視野に入れた壮大なプロジェクトとしてクラウドファンディングを展開し、ランプの村づくりに着手。



6.9
NPO法人TEAM KIX Aviation設立報告始動

泉佐野市長への**法人設立と空のエールプロジェクト「玖の矢」への協力要請**を行い、関西国際空港対岸の9市4町首長への表敬訪問を始動。

8.28
玖の矢にりんくうスマイル花火が参画

「こどもに夢を」を理念とするりんくう花火実行委員会が地域の団体と共にコロナ禍でも出来る花火大会をつくろうと、りんくうスマイルプロジェクトを立ち上げ、地域と航空業界にエールを届ける「玖の矢」に参画。**関西航空少年団の団員達が花火教室で構想した花火が夜空を飾り、グランドフィナーレに空のエールプロジェクトのテーマソング「Dear Sky」とともに打ち上げられた大輪の花火が、夜明けを彷彿。**

7.24
航空幕僚監部 広報室長来阪

奇しくも延期された**東京2020オリンピックの開会式でブルーインパルスが五輪を描いた翌日の7月定例活動の会場に、航空幕僚監部　広報室長が来訪。**ブルーインパルスを大阪の空に招致する空のエールプロジェクト「伍の矢」に対するご理解とご賛同をいただき、実現に向けた知恵を拝受。

12.24
9市4町にブループロジェクト支援要請

泉佐野市長にブループロジェクト支援要請を行い、**泉佐野市長から大阪府知事への要望書提出を決定。**

10.15
TEAM dreamers発足

ブルーインパルス招致プロジェクトチームを発足。10月27日の第2回会議で、チーム名を**「TEAM dreamers」**に、プロジェクト名を**「ブループロジェクト」**と命名。

3.28
自衛隊にブループロジェクト要望

自衛隊大阪地方協力本部長を表敬訪問し、ブループロジェクトの支援要請。
同時に、**9市4町への支援要請に向けた表敬訪問を展開。**

「向かい風は離陸のサイン」と、信じ続けて離陸する事ができた令和4(2022)年度。
放ち続けたエールの矢が切り開いた暗雲から微かに射し込む光を頼りに、暗中模索のフライト。
それらの光に導かれるように突き進んだ先に広がっていた青空を、自由自在に舞う蒼い翼に、終わりと始まりの希望を実感。

令和5(2023)年度も、史上最大規模のクルー体制でエールフライトの上昇限度へ。
そして、あらゆる可能性が溢れ出す関西国際空港開港30周年と共に迎える関西航空少年団発団30周年の令和6(2024)年度へ。

飛躍の軌跡 Vol.破　次号 6 th Flight に続く...

航空少年団概要

限りない夢を乗せて、いま大地を翔ける

航空少年団は、"かぎりなくひろがる大空"に希望をいだき、航空および宇宙の基礎的な勉強をしたり、新しい航空機や、航空の安全を守るいろいろな施設の見学、さらに体験飛行などを通じて、航空や宇宙の知識を深めるとともに、航空が大好きなお友達と一緒に、規則正しい団体生活をとおして楽しみながら、いろいろな行事を行い、心身をきたえて航空人を始め、りっぱな社会人を育てようとする青少年の団体です。

航空少年団本部

本部長　／　岩﨑　俊一　（一般財団法人　空港振興・環境整備支援機構　理事長）

事務局　／　〒105-0011東京都港区芝公園一丁目三番一号

一般財団法人　空港振興・環境整備支援機構　航空振興課

Tel 03－6452－9004　Fax 03-6452-9251

E-mail : oaf-sfa@aeif.or.jp

関西航空少年団概要

1994年の関西国際空港 開港を機に発団いたしました（1994年5月15日 発団）。関空に多くの大人、こども達が期待を寄せ、航空に対する夢を描き、発団当時より多くの団員が所属していました。一時期には、50名を超える活発な航空少年団活動を継続してまいりましたが、リーマンショック以降の世界経済の低迷、関空の低迷に引き込まれるかのように団員数の減少、支援団体・個人が減少してしまいました。その結果、2014年度から活動休止の決断をすることになってしまいました。

しかし、近年の関空の飛躍に応えられるよう、関西航空少年団の休止状態を早期に解消し、再度"大空に憧れるこども達に夢を与えられる組織を運営しなければならない"という想いのもと、2015年に再生準備委員会を発足し、約半年間の準備期間を経て、2016年5月15日に7名の新入団員を迎え入れることで、再出発を果たすことができました。

その後、保護者、支援者の方々の多大なるご理解とご支援で、団員数は大幅に増加し、現在では団員数37名、幹部団員とオフィサーを合わせて110名の史上最大規模のクルー体制にまで成長いたしました。様々な訓練カリキュラムに加え、コロナ禍における社会貢献活動に従事してきた事で到達した離陸速度を、安全に大空へと導く事ができました。

こども達の夢を大空につなげる架け橋として、航空業界、地域、日本の人材育成をはじめ幅広い分野・領域における希望の飛行"器"となれると確信しています。その確かな思いを胸に、復活5周年の2021年度に離陸した希望のフライトは、コロナ禍という分厚い暗雲を切り拓き、繁栄の光が射し込みはじめました。

関西国際空港開港30周年と共に迎える発団30周年の2024年度の節目を経てから控える2025年度の大阪・関西万博は、日本再興の結節点となると確信しています。ここからが正念場です。共に飛躍と栄光の航路を進みましょう。

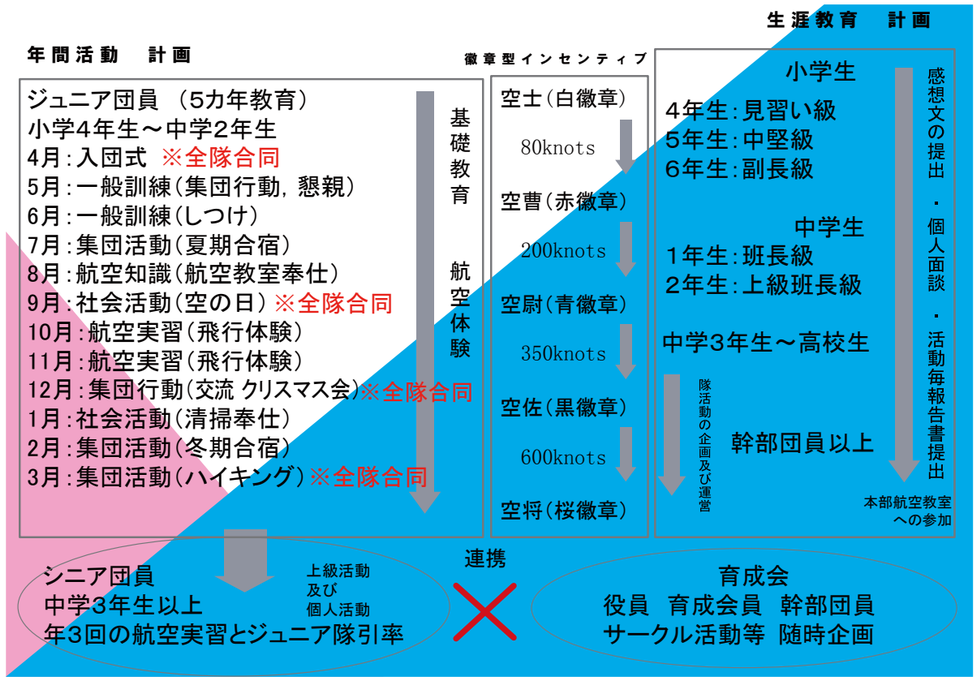
関西航空少年団役員

団長　越智 友輝
副団長　藤原 克也
副団長　藤田 純子
名誉顧問　千代松 大耕　畑中 政昭　辻 宏康　永野 耕平　南出 賢一　酒井 了
山本 優真　水野 謙二　栗山 美政　藤原 敏司　杉原 健士　田代 堯
名誉団長　第三代団長　澤原 弘輔
第四代団長　鈴木 啓介
顧　問　谷川とむ
松浪 武久
永山 誠　森 久往　岡林 憲二　堀口 陽一　田中 学　谷 展和　上甲 誠
射場 隆裕　三宅 良矢　河瀬 成利
矢野 正憲　奥野 学
橋渡 園子　根來 多美子
大和屋 貴彦
相談役　射手矢 光雄　本道 篤志　松下 庄一　福本 伊織
世話役　東谷 武　洞 義浩

※順不同

役員・幹部団員数（P.20オフィサー含む）	団員数（休団者3名含む）	合計所属人数
73名	37名	110名

関西航空少年団　訓練カリキュラム



徽章型インセンティブ制度について　活動へ参加するごとに各活動に定められた一律のポイント（knots）が付与されます。knotsが一定の値に達することにより空士から空将まで昇級していき、それぞれに色分けされた徽章（バッジ）が授与されます。

令和４年度 活動実施一覧

関西航空少年団

活動	隊	内容	出席者	活動報告
4月定例活動	全隊	令和４年度 入団式/拠点空港見学	52名	P.9
5月定例活動	全隊	参拝/和菓子作り体験/茶道研修/規律訓練	26名	P.10
6月定例活動	全隊	泉佐野フィッシャーマンズワーフ見学・体験 空のエールプロジェクト決起集会	21名	P.11
7月定例活動	全隊	サマーキャンプ/名古屋・岐阜航空少年団との合同活動 空のエールプロジェクト活動	21名	P.12
8月定例活動	ジュニア隊	Peach航空研修/関西翼の会 航空教室・奉仕活動	16名	P.13
10月定例活動	ジュニア隊	ヘリコプター飛行体験/神戸空港見学/神戸市社会見学	10名	P.14
11月定例活動	ジュニア隊	パラグライダー飛行体験	13名	P.15
1月定例活動	全隊	海上保安官との交流・海浜清掃/凧揚げ体験	29名	P.15
2月定例活動	全隊	ウィンターキャンプ/スキー合宿	23名	P.16
7月臨時活動	全隊	泉佐野市協定締結市町村体験学習・宮城県白石市表敬訪問・防災減災学習 航空自衛隊 松島基地・ブルーインパルス訓練飛行視察	32名	P.17-18
	シニア隊・リーダー隊	指導者研修キャンプ/航空交流会	17名	P.19

4月定例活動

Apr.17.2022

令和４年度 入団式/拠点空港見学

関西国際空港 関空展望ホール Sky View
関西空港海上保安航空基地/空港消防本部

ようこそ、関西航空少年団へ!
待ちに待った関空展望ホールからテークオフ!!

SCHEDULE

朝
⑴集合　関空展望ホール Sky View
⑵入団式リハーサル
⑶令和４年度 入団式
　①開式
　②国歌斉唱
　③誓いと心構え
　④団長歓迎の言葉
　⑤来賓挨拶・紹介・祝電披露
　⑥戴帽式
　⑦進級式
　⑧表彰式
　⑨プロジェクト任命式
　　ブループロジェクト新リーダー・メンバー任命
　⑩法人代表歓迎の言葉
　⑪閉会
⑷記念撮影
⑸空港見学
　①関西空港海上保安航空基地 見学
　②関空消防本部 見学
　③関空展望ホール 見学
　④活動説明会
⑹AIRIST表彰式
⑺終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　航空少年団員としての心がまえと自覚の認識を促す事
II.　新入団員を迎える事を通して既存団員の人格の涵養に努めるとともに団内交流を促す事
III.　活動拠点空港の現場・機能・魅力を知る事で関西航空少年団員としての資質向上を促す事

REPORT 活動報告

コロナ禍を乗り越え、3年ぶりに関空展望ホールで入団式を挙行することができました。
2020年はりんくう公園 石舞台、2021年は泉佐野センターホテルにて、コロナ禍で両年度とも9月20日空の日に延期して挙行してきました。関空展望ホールは、既存団員はもちろん新団員に関空を拠点として活動する関西航空少年団たる自覚と決意、そして航空業界への関心を喚起させる現場であるとともに、私たちが復活を遂げた歴史的に意義深い場所です。再び挙行することができ、感無量でした。
海上保安航空基地と関空消防本部での航空見学を実施していただき、飛行機、化学消防車、訓練、どれも本物を間近で見ることができたことは団員たちにとっては懐かしい刺激になったのではないでしょうか。何よりもこうして多くの団員達が一堂に会する事ができた感動はひとしおだったと推察します。再び、みんなで一緒に活動できる日々が戻ってくる期待感でいっぱいになりました。

執筆　越智 友輝

Member's Report　Member's Report

入団式は新しく入団した仲間と出会えるワクワクする日です。展望ホールで行われる入団式では、沢山の飛行機を見る事が出来ます。飛んで行く飛行機を見ていると、私たちを応援してくれているように感じてうれしくなります。
私は小学4年生で入団し、ジュニア団員として5年間仲間と楽しく色々な活動をして来ました。今年度は中学3年生になり、シニア団員になりました。私が活動で困ったことがあれば、先輩団員が助けてくれたように、私もシニア団員としてジュニア団員のお手本になれるように、頑張りたいと思います。
これからも関西航空少年団の団員としての誇りを持って、仲間との絆が深まるように、成長していきたいです。

5月定例活動

May.29.2022

参拝/和菓子作り体験/茶道研修/規律訓練

泉州磐船神社

130年の伝統を誇る老舗と航空神社でWaviationコラボ!
自分で作った和菓子でいただく一服で、過去・現在・未来を見通す!

SCHEDULE

昼
⑴集合　南海 井原里駅
⑵移動　徒歩
⑶到着 泉州航空神社
⑷挨拶・手水・参拝
⑸和菓子作り体験
　　協力：銘菓創庵 むか新 様（1892年創業）
⑹茶道研修／規律訓練／自己紹介・資料館見学
⑺団員会議
　「ブループロジェクトの今後について」
⑻来賓・役員茶席
⑼謝辞
⑽出発
⑾移動　徒歩
⑿到着　@南海 井原里駅
⒀AIRIST表彰式
⒁終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　入団の報告と活動の安全祈願
II.　世界に羽ばたく航空業界をめざす人材育成の一環として神社参拝や茶道の作法を通して日本人としての基本的な振る舞いを修める事
III.　日本の伝統的な和菓子作りを通して伝統文化を学ぶ事
IV.　規律訓練を通して団体行動の基本を学ぶ事

REPORT 活動報告

例年、入団式を終えてから大空、関西国際空港の守護神、「饒速日命（にぎはやひのみこと）」という神様が鎮座する泉州航空神社（泉州磐船神社）に入団の報告と活動の安全を祈願する参拝をはじめとする各種活動をさせていただいています。
今年度は、特別企画として、老舗和菓子店の銘菓創庵 むか新様のご協力で、和菓子づくり体験をさせていただき、その和菓子で茶道研修を行わせていただきました。
和菓子教室終了後、航空資料館の見学を行う班、自己紹介を兼ねた規律訓練を行う班、茶道裏千家前家元が命名された茶室「飛雲庵」にて茶の湯の作法を学ぶ茶道研修を行う班、の3班に分かれて活動を行いました。
自分でつくった和菓子を食べながら、茶道を学ぶといった特別な体験を通して、今まで以上に日本の伝統文化に対する理解が深まる活動となりました。

執筆　江川 美紀

Member's Report　Member's Report

航空神社に参拝し、その後茶道と和菓子作りを体験させていただきました。和菓子はその時期の植物や果物などの形を作って、季節を表しているということを教えていただきました。ひとつひとつ手作業で作るのは大変そうでしたが、私は物を作るのが好きなので、和菓子職人になりたいと思うくらい楽しかったです。
茶道の作法やおもてなしの心についても教えていただきました。茶室の入口は刀を持ち込めないようにして、争い事を持ち込まず、敵も味方も一緒にお茶を飲むためだそうです。貴重な体験をさせていただき、とてもおもしろくて勉強になりました。

6月定例活動

Jun.26.2022

泉佐野フィッシャーマンズワーフ見学・体験
空のエールプロジェクト決起集会

いずみさの関空マリーナ/泉佐野漁協青空市場
海鮮焼市場/りんくうアイスパーク

海上間近で見る関空と飛行機は別格！
仲間達との久しぶりの会食は格別！

SCHEDULE

朝
⑴集合　JR 日根野駅
⑵ブループロジェクト広報ビラ配布活動
⑶移動　電車
⑷到着　りんくうタウン駅
⑸移動　徒歩
⑹到着　いずみさの関空マリーナ
⑺挨拶
⑻クルージング体験(関空・飛行機見学)
　協力：いずみさの関空マリーナ

待機組：ブループロジェクト広報ビラ配布活動
　　青空市場前
　　見学・空のエールプロジェクト会議
　　いずみさの関空マリーナ
⑼謝辞
(10)空のエールプロジェクト決起集会　海鮮焼市場
　食材調達　泉佐野青空市場
(11)りんくうタウン 散策・移動　徒歩
　夏の雪合戦　関空アイスアリーナ前
(12)到着　りんくうタウン駅
(13)AIRIST表彰式
(14)終礼・解散

PURPOSE 目的

I. コロナ禍で会えていない仲間たちと改めて集う重要な機会を創出し、航空業界と地域とともにコロナ脱却を図るイベント「空のエールフェスティバル」の実現に向けた機運醸成を図る事
II. クルージング体験を通した活動拠点空港と離発着飛行機の見学で拠点空港の魅力を多角的に捉える事
III. グループごとに市場での購買・交渉体験を通して活動拠点と泉佐野フィッシャーマンズワーフの魅力を再発見する事

REPORT 活動報告

いずみさの関空マリーナで、オーナーや代表取締役をはじめスタッフの皆さんにご指導をいただきながら、関西国際空港の周辺をクルージングするといった贅沢な体験をさせていただきました。海上から見るいつもと違った広大な関西国際空港の姿、離発着を繰り返す迫力満点の飛行機は圧巻でした。
昼食は、班に分かれて予算内での買い物を行う為、青空市場での市場独特の交渉に団員達は興奮気味でした。それぞれ全く違う食材だったので班同士で交換しながら、長くコロナ禍でできなかった会食を目一杯楽しむ事ができました。
酷暑の中、空港を眺めながら、りんくうタウンを散策する中で、オアシスのように現れた雪の塊。即座に始まった雪合戦。夢中になる団員達の顔は、先ほどまでの暑さに負けそうな表情とは違ってイキイキしていました。
仲間の大切さを再認識するとともに、ブループロジェクトの広報ビラの配布活動等も通して、社会的な成長を促す貴重な活動となりました。

執筆　小橋 幾代

Member's Report　Member's Report

関空マリーナから船で関空の近くまで行って、間近で空港を見て風を感じました。連絡橋の下では上をピーチが飛んでいっていつもとはまた違う感覚で見る事ができました。関空付近では船の一番高い所から飛行機を近くに感じる事ができました。戻ってブループロジェクトのチラシを青空市場周辺で配りました。チラシを配るときに受け取ってもらえると、とても嬉しく感じました。
その後、青空市場で食材を買い、隣の施設でバーベキューをしました。複数の団員の意見をまとめたり、聞き入れる事の大切さと難しさに気付かされました。片付けをし、海沿いをみんなで歩いて帰る途中、スケート場の横に積まれた氷で、みんなで涼みました。有意義で勉強になった活動でした。

7月定例活動

Jul.23-24.2022

サマーキャンプ/名古屋・岐阜航空少年団との合同活動
空のエールプロジェクト活動

あいち航空ミュージアム/中部国際空港 セントレア
フライト・オブ・ドリームズ/三重県立鈴鹿青少年センター

リアルで再会を果たした名古屋団・岐阜団と合同活動！
航空宇宙産業の一大拠点でプロから本物と夢の大切さを伝授！

SCHEDULE

1日目
朝
⑴集合　南海泉佐野駅
⑵移動　チャーターバス
⑶昼食　バス内
⑷到着　あいち航空ミュージアム
⑸あいち航空ミュージアム見学
　(名古屋団・岐阜団との合同活動)
⑹移動　チャーターバス
夕
⑺到着　三重県立鈴鹿青少年センター
⑻オリエンテーション
⑼夕食・入浴
夜
(10)団員会議（空の日イベント企画）/Dear Sky練習会
(11)班長会議
(12)就寝

2日目
朝
⑴起床・朝礼
⑵朝食・掃除・片付け
⑶移動　チャーターバス
⑷到着　中部国際空港 セントレア
⑸中部国際空港 セントレア見学(名古屋団との合同活動)
昼
⑹昼食（機内食弁当）
⑺フライト・オブ・ドリームズ 見学
夕
⑻移動　チャーターバス
夜
⑼到着　南海泉佐野駅
(10)AIRIST表彰式
(11)終礼・解散

PURPOSE 目的

I. 各地の航空少年団との交流・親睦を深めることで相互に成長を促進するとともに航空少年団の発展を促進する事
II. 宿泊を伴った団体活動を行うことで団体行動の実行能力と団員相互の信頼関係を構築する事
III. 空港・航空博物館見学や航空関係者による講義を通して航空知識のインプットとモチベーションアップを図る事

REPORT 活動報告

【1日目】 名古屋航空少年団、岐阜航空少年団の皆さんと合同活動を行いました。あいち航空ミュージアムでYS-11型機をはじめとした機体見学を行い、その後は株式会社テクノブレイン ミュージアムプロデューサーの盛岡隆司様、元主任航空管制官の田中秀和様、元航空自衛隊テストパイロットの土屋昭人様といった豪華講師による空のお話をご講義いただき、夢を持つことの大切さをご教授いただきました。
夜は、空のエールプロジェクトの集大成となる企画立案に向けた団員会議とダンス・よさこい・手話でつながるDear Skyの練習会を行い、航空業界と地域にエールを届ける準備を進めました。
【2日目】 中部国際空港にて、1日目に講師をしていただきました田中秀和様に展望デッキで管制官目線の航空教室を行っていただき、離陸前のコクピットに手を振ると振り返してもらえる貴重な経験をすることができました。最後はB787ドリームライナーの初号機が展示されている「フライト・オブ・ドリームズ」で実際の機体を前に航空教室を行っていただき、団員たちは初めて間近で見る大型機の迫力に目をキラキラさせていました。この活動は航空業界をめざす子ども達にとって、かけがえの無い経験になったと感じております。

執筆　鈴木 啓介

Member's Report　Member's Report

僕は7月のサマーキャンプで飛行機のことについての知識が増えたと思います。あいち航空ミュージアムではテクノブレインの盛岡さんに戦闘機のことを深く教えていただき、セントレアでは元管制官の田中さんにセントレアのことや、管制塔のことなどを教えていただきました。今回のサマーキャンプでまた貴重な体験をさせていただき、とてもありがたいと思っています。とても楽しかった活動の一つなので、またこのような活動が出来たらいいなと思っています。ありがとうございました。

8月定例活動

Peach航空研修/関西翼の会 航空教室・奉仕活動

Jul.29.2022
ホテル日航関西空港
Peach Aviation株式会社本社
第2ターミナル

元気を取り戻し始めた関空の実状に感動!
伝説のパイロットや関空を支える方々の実話に興奮!

SCHEDULE

朝
⑴集合　JR 日根野駅
⑵移動　JR阪和線電車
⑶到着　ホテル日航関西空港
⑷航空教室
　講師：PeachAviation株式会社 顧問 角城 健次氏
　演題：Peachの歩み
⑸移動　南海バス
⑹到着　関西空港第T2
⑺関西国際空港第2ターミナル 見学
昼
⑻昼食
⑼移動　南海バス
(10)到着　ホテル日航関西空港
(11)関西翼の会主催 航空教室 参加・運営補助
①お話「航空管制官のお仕事」
②お話「グランドスタッフのお仕事」
③お話「客室乗務員のお仕事」
④お楽しみ抽選会
夕
(12)撤収作業
(13)移動　JR阪和線電車
(14)到着　JR 日根野駅
(15)AIRIST表彰式
(16)終礼・解散

PURPOSE 目的

I. 地元拠点エアライン Peach Aviationの方々との交流を通した航空知識のインプットとモチベーションアップを図る事

II. 関西翼の会が航空業界の現場にかかわる方々をお招きして開催する航空教室で航空知識のインプットを行うとともに、その運営に携わることで主体性を養う事

REPORT 活動報告

毎年、団員が楽しみにしている夏休みの航空教室。ピーチのパイロットと航空管制官、航空会社のグランドスタッフのお話をお聞きました。ピーチがどのようにして設立から現在のように知名度を高めたのか、どのようにしてローコストで安全且つハイクオリティのサービスを提供できるかなど、聞いていてとても興味深いものでした。また航空管制官やグランドスタッフの話も将来に航空業界で働きたいと思っている団員にとってはかなり仕事の内情を知れて、これからのモチベーション維持に役立ったのではないでしょうか。その後にある抽選会では全員に航空グッズが当たるという太っ腹な企画で、全団員がレアな航空グッズを目の前にして、とても嬉しそうな姿が印象的でした。このような色々な方たちの協力を得て毎年参加させて頂いている航空教室。来年も楽しみにしています。

執筆　大島 千恵

Member's Report　Member's Report

航空教室ではピーチの伝説のパイロットや管制官、客室乗務員、グランドスタッフの人達の話を聞きました。管制官の人は実際に英語を聞かせてくれて、すごくかっこよかったです。お母さんがグランドスタッフなので、グランドスタッフの人の話を聞きながら、自分のお母さんも毎日こんな仕事をしていて、大変なんだなーと思いました。飛行機に関する色々な話がきけてよかったです。その後の抽選会ではピーチの熊のぬいぐるみが当たってむちゃくちゃうれしかったです。

10月定例活動

ヘリコプター飛行体験/神戸空港見学/神戸市社会見学

Oct.23.2022
ヒラタ学園
フェリシモチョコレートミュージアム
神戸空港

回転翼ならではの飛行で大空を独占!
KOBEのハイセンスなモノ・コトが感受性を揺さぶる!

SCHEDULE

朝
⑴集合　JR日根野駅
⑵移動　自動車
⑶到着　神戸空港海上アクセスターミナル
⑷移動　チャーターバス
⑸到着ヒラタ学園
⑹ヘリコプター機 搭乗体験
昼
⑺移動　チャーターバス
⑻到着　メリケンパーク
⑺昼食
⑼移動　チャーターバス
(10)到着　フェリシモチョコレートミュージアム
(11)フェリシモチョコレートミュージアム 見学
(12)移動　チャーターバス
(13)到着　神戸空港
(14)ミニチュアライフ 神戸エアポート 見学
(15)神戸空港「空の日イベント2022」 視察
(16)移動　チャーターバス
(17)移動　自動車
夕
(18)到着　JR日根野駅
(19)AIRIST表彰式
(20)終礼・解散

PURPOSE 目的

I. 対岸都市である神戸市の魅力を知り、学ぶ事

II. 回転翼のヘリコプター飛行体験で自由自在に空を飛ぶことの楽しさを実感する事

III. 神戸空港の空の日イベントの視察を通して自分達が携わる関空空の日イベントをイメージする事

REPORT 活動報告

ヒラタ学園では今年度はヘリコプター飛行体験を実施しました。セスナ機とはまた違った迫力や上昇・降下などの飛行感覚を実際に体感することができました。また上空から見る神戸の街並みや海の素晴らしい眺めに目を輝かせ、釘づけになっていた団員たち。今年も大変良い体験となりました。建物に一歩踏み入れると甘い香りが漂うチョコレートミュージアムでは沢山のチョコレートのパッケージが展示されていて馴染みのあるものを見つけ喜び合ったり、チョコレートの歴史や文化を学び、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。最後に、空の日のイベントを開催していた神戸空港を見学させていただきました。飛行機や神戸の街のミニチュア展示に関心を寄せて楽しんだり、イベントの賑わいや雰囲気を味わうことができました。

執筆　新原 真由美

Member's Report　Member's Report

神戸に行って、ヒラタ学園とチョコレートミュージアムを見学しました。ヒラタ学園では、ヘリコプター機搭乗体験をしました。ヘリコプターに乗るのは初めてで緊張しました。ヘリコプターからの景色は視界が広く、その日は天気が良かったので、綺麗な街並みを見ることが出来ました。その後、チョコレートミュージアムに行きました。そこでは、チョコレートの歴史やチョコレートの事について学びました。この活動に参加して、とても楽しい１日を過ごすことが出来ました。

11月定例活動

Nov.27.2022

パラグライダー飛行体験

舞洲スポーツアイランド 太陽の広場

向かい風を受けてさらなる高みへ!太陽の輝く万博会場へテークオフ!

SCHEDULE

朝
(1)集合　JR日根野駅
(2)移動　JR阪和線電車
(3)乗換　JR西九条駅
(4)移動　大阪シティバス
(5)到着　舞洲スポーツアイランド
(6)パラグライダー飛行体験　太陽の広場
　指導：（株）ウェストジャパンアウトドアスクール
昼
(7)昼食
(8)レクリェーション
(9)AIRIST表彰式
(10)散策　夢洲大橋・舞洲工場等
(11)移動　大阪シティバス
(12)到着　JR西九条駅
(13)移動　JR阪和線電車
(14)到着　JR日根野駅
(15)終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　パラグライダー飛行で風と空を直接体感することで空気力学的な観点から、大空を羽ばたくことの魅力を体験する事

II.　2025年開催予定の大阪・関西万博会場周辺の散策を通して団における万博の機運醸成を図る事

REPORT 活動報告

自ら飛行を体験するパラグライダー飛行体験。団員たちからは「空を感じた」「気持ちいい」「楽しい」という興奮の声が上がりました。向かい風は離陸のサイン。今回の活動も、航空力学としての向かい風と共に人生における向かい風の重要性を実感することができた意義深い活動となりました。

執筆　越智 友輝

Member's Report　Member's Report

パラグライダーはすごく楽しみにしていました。パラグライダーは大きくてびっくりして、思ったよりも重かったです。だから走って飛ぶまでが大変でした。でも飛んで少し経ったら、急に風がきてピューと飛ばされて、高く上がりました。海や空港が見えてわくわくしました。けど、少しこわかったです。パラグライダーは、飛行機と同じで、風を受けて揚力で飛んでいるのかなと思いました。飛ぶというのは、やっぱりすごくて、楽しかったです。

1月定例活動

Jun.15.2023

海上保安官との交流・海浜清掃/凧揚げ体験

りんくうマーブルビーチ

日本一近くで飛ぶ飛行機に会える!海の安全を守る方々と「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」実践!

SCHEDULE

朝
(1)集合　りんくうタウン駅
(2)移動　徒歩
(3)到着　マーブルビーチ萩の休憩所
(4)海上保安庁の方々との交流活動
　①機動救難士による水難事故防止講習
　②海浜清掃活動
(5)たこ揚げ体験
昼
(6)昼食
(7)移動　徒歩
(8)到着　りんくうタウン駅
(9)AIRIST表彰式
(10)終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　海上保安官の方々の仕事と水難事故防止対策を学ぶ事

II.　海浜清掃を通して奉仕の精神を醸成するとともに環境問題を考える事

III.　日本の伝統的な正月遊びである凧揚げを通して空気力学を体験し学ぶ事

REPORT 活動報告

ゴミを拾えば、物理的な空間と精神的な心の双方がキレイになると同時に、捨てる人とゴミを減らす事につながるという講和の後、海上保安官の方々と海浜清掃を行いました。
機動救難士の方々による水難救助講習の直後、巡視艇がサイレンを鳴らしながら現れ、さらには中型飛行機が団員達の頭上をローパスしてくれるすごいサプライズがありました。
初めて凧揚げをした団員も多い中、海風に助けられて天高く舞い上がる凧を操りながら、揚空気力学を学びました。

執筆　小橋 幾代

Member's Report　Member's Report

海上保安庁の方の合図と共に勢いよく巡視船と飛行機が現れて驚きと共にかっこよさと私達の為だけにと言う特別感に感動しました。貴重な機会をありがとうございました。海浜清掃ではマーブルビーチの漂流ゴミの多さに驚きました。日常的に使うペットボトルやタバコ等のゴミが多く、1人1人のゴミを捨てない意識が大切だと感じました。その後の凧揚げでは風の向き、強さ、高度によるその変化、変化に合わせて糸の長さや引く力を変えたりすると一気に空高くあがりました。飛行機と同じく風を捉えて空高く上がる姿を見て嬉しくなりました。

2月定例活動

Feb.11-12.2023

ウィンターキャンプ/スキー合宿

ハチ高原

雪遊び、初めてつくるかまくらに大興奮!
スキーで自分と向き合い、仲間と繋がる!

SCHEDULE

1日目
朝
(1)集合　南海泉佐野駅
(2)移動　チャーターバス
昼
(3)到着　ハチ高原ホテル やまとよ
(4)昼食
(5)雪上レクリェーション
夕
(6)夕食・入浴
夜
(7)団員会議
　①次年度活動計画の協議・提案
　②ブループロジェクトメンバー募集
(8)班長会議
(9)就寝

2日目
朝
(1)起床・朝礼
(2)朝食
(3)スキー
昼
(4)昼食
(5)移動　チャーターバス
夜
(6)到着　南海泉佐野駅
(7)AIRIST表彰式
(8)終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　スキー体験と雪遊びを通して団としてのさらなるチームビルディングを図る事

II.　団員それぞれの身体能力とチャレンジ精神を向上する事

REPORT 活動報告

団員の中には、何度か参加しているメンバー、初めてのメンバーが、バスに乗るまで眠い目を擦りながら集合する姿の奥にワクワク感が読み取れました。白銀の世界を見るやいなや、それらは表出し、リーダー隊を中心とした班対抗の雪上レクリエーションは大盛り上がり。雪だるま、太陽の塔をはじめとする様々な雪の造形、リーダーがつくるサプライズのかまくらで楽しんだ後のソリ遊びで興奮はピークに達し、団員達の団結力が飛躍的に向上しているのを実感しました。その結果、夜の団員会議では次年度活動計画に関する有意義な議論とプレゼンが行われました。
翌朝、スクールに入る2チーム、経験者チームの3チームに分かれてスキーを楽しみました。滑れるようになって喜ぶ姿、さらに高いところでチャレンジする果敢な姿、後輩団員に教える優しい姿に、団員達の飛躍的な成長力を実感しました。

執筆　花房 桃香

Member's Report　Member's Report

2月の11日、12日にハチ高原スキー場にスキーキャンプに行きました。最初着いた時は、大阪には無い雪景色が広がっていて、とても興奮しました。午後からは雪合戦をしたり、ソリですべったりして遊びました。特に楽しかったのは、副団長を埋めて雪だるまを作った事です。副団長は腰まで埋まって寒がっていたけど、とても楽しそうでした。夜は、寝る前に怖い話をして、みんな怖くて全員で寄って寝たのもいい思い出です。次の日にスキー講習を受け、歩き方や登り方、滑り方を習ってからリフトに乗りました。高い所が苦手なので、はじめは怖かったです。滑るのは難しかったけど、周りから上手と言われたので自信がついて、最後まで滑りきる事が出来、とてもうれしかったです。

Jul.26-27.2022

泉佐野市協定締結市町村体験学習
宮城県白石市表敬訪問・防災減災学習
航空自衛隊 松島基地・ブルーインパルス訓練飛行視察

1日目　白石城・歴史探訪ミュージアム
2日目　石巻南浜津波復興祈念公園
　　みやぎ東日本大震災津波伝承館
両 日　航空自衛隊 松島基地
　　未来学舎KIBOTCHA

大空を縦横無尽に飛び回るブルーインパルスに圧倒！この体験と感動を大阪の空へ、みんなのエールに!!

SCHEDULE

朝
1日目
⑴集合　JR日根野駅
⑵移動　JR阪和線電車
⑶合流　関西国際空港T2
⑷移動　飛行機(Peach MM131便)
⑸到着　仙台空港
⑹歓迎　岩沼市長
　　仙台国際空港株式会社 取締役営業本部長
　　岩沼航空少年団 団長・副団長
⑺移動　チャーターバス
⑻到着　歴史探訪ミュージアム
⑼白石市表敬訪問・歓迎セレモニー
(10)白石城等 見学
(11)移動　チャーターバス
(12)到着　未来学舎 KIBOTCHA
昼
(13)昼食
(14)移動　チャーターバス
(15)到着　航空自衛隊 松島基地
(16)ブルーインパルス飛行訓練 視察
(17)移動　チャーターバス
(18)到着　未来学舎 KIBOTCHA
(19)講演会
　　講師：宮城県議会議員 高橋 宗也氏
　　演題：東日本大震災 復興のまちづくり
　　「あの日を忘れず　ともに未来へ」
夜
(20)入浴
(21)夕食（自炊型BBQ体験）
(22)航空教室 AIRBORNE
　　講師：元ブルーインパルス編隊長 井出 方明氏
(23)団員会議（第12回ブルーミーティング）
(24)班長会議
(25)就寝

PURPOSE 目的

I.　泉佐野市の代表団として協定締結市町村との交流を行う事
II.　東日本大震災の教訓から防災・減災対策を学ぶ事
III.　空のエールプロジェクト伍の矢でプロジェクト化したブルーインパルスの展示飛行の大阪・関西への招致活動の一環としてブルーインパルスが所属する松島基地と訓練飛行の視察を行う事でブルーインパルスに関する知識を深めるとともに招致活動の機運を醸成する事

REPORT 活動報告

1日目

泉佐野市と特産品相互取扱協定を締結している白石市を訪問し、白石市長 山田 裕一様はじめ執行部の方々が白石城・歴史探訪ミュージアムで歓迎セレモニーを挙行くださいました。その後、全国的にも５城しかない木造建築の城である白石城を、近年の震災による復旧工事中の外観から見学させていただきました。

午後からは松島基地にて、ブルーインパルスの訓練飛行を視察させていただき、その迫力に圧倒され、この感動を大阪の空に招致しようと一致結束しました。

宿泊施設にて宮城県議会議員 高橋 宗也様から、東日本大震災 復興のまちづくりについてご講演いただき、壮絶な被災体験に一同言葉を失いながらも、本質的な防災と減災の教訓を学ばせていただきました。

夕飯時に、元ブルーインパルス編隊長の井出 方明様に貴重な体験談を語っていただく機会に恵まれ、夜に開催した第12回ブルーミーティングでの意見交換が非常に有意義なものとなり、ブループロジェクトが加速し始めました。

執筆　大和屋 貴彦

SCHEDULE

2日目
朝
⑴起床・朝礼
⑵朝食
⑶防災教室(火おこし・浄水体験)
⑷移動　チャーターバス
⑸到着　航空自衛隊 松島基地
⑹基地・機体見学
⑺移動　チャーターバス
昼
⑻到着　未来学舎 KIBOTCHA
⑼昼食
(10)移動　チャーターバス
(11)到着　石巻南浜津波復興祈念公園
(12)献花
(13)みやぎ東日本大震災津波伝承館 見学
(14)移動　チャーターバス
(15)到着　仙台空港
(16)送別　仙台空港長・岩沼航空少年団 副団長
(17)移動　飛行機(Peach MM138便)
　　※2020.11.29 空飛ぶ航空教室と同一機体
夕
(18)到着　関西国際空港T2
(19)AIRIST表彰式
(20)終礼・解散
(21)移動　JR阪和線電車
(22)到着　JR日根野駅
(23)解散

REPORT 活動報告

2日目

防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」にて火おこしや浄水等の防災体験を行い、日頃の備えの大切さを学びました。その後は再度、松島基地に移動し、ブルーインパルスの格納庫を見学させていただき、自衛隊機の構造や歴史を学びました。

最後は石巻南浜津波復興祈念公園で、東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷と献花を行いました。園内のみやぎ東日本大震災津波伝承館では、建物の一番高い屋根の高さが6.9mという当時の津波の高さを目の当たりにしながら、様々な資料と映像を通して震災の恐ろしさと日頃の生活でも防災意識を持つ事の大切さを改めて学ばせていただきました。

執筆　鈴木 啓介

Member's Report

Member's Report

2022年夏休みを利用してブルーインパルス本拠地である宮城県の松島基地に行ってきました。基地に着いた途端、ブルーの練習フライトを見ることができました。初めは雲が多く第一区分での演技ができるのか心配でしたが、だんだん晴れてとても素晴らしい演技が見られました。僕たちだけの航空祭!!すごく迫力があってかっこよかったです!!隊員の方々から手を振ってもらえて嬉しかったです。

1日目の夜は、バーベキューを楽しみました。元T-2ブルーパイロットさんの講義もあり、貴重な話をたくさん聴くことができました。2日目は、東日本大震災の話を伺い、火おこし体験などを行ったあと松島基地の格納庫見学をさせていただきました。普段入ることのできない場所で、整備中の機体や退役したT-2ブルーを間近で見た時、とても興奮しました。1泊2日のすごく充実した2日間でした。また行きたいです。ありがとうございました。

Senior & Leader TEAM

Jun.18-19.2022

指導者研修キャンプ/航空交流会

野外活動ふれあい広場/エブノ泉の森ホール

指導者たる者の心構えと指導力とは？
生きる力を体得する過程で個人と団体を活かす最大公約数を掴め！

SCHEDULE

1日目
昼
⑴集合　野外活動ふれあい広場
⑵テント設営
⑶規律訓練
夕
⑷調理（カレーライス）
⑸夕食
夜
⑹キャンプファイヤー
⑺団員会議
⑻就寝

2日目
朝
⑴起床・朝礼
⑵調理（味噌汁）
⑶テント撤収・片付け
⑷移動　自動車
⑸到着　エブノ泉の森ホール
⑹航空教室 AIRBORNE
講師：航空管制コンサルタント
元主任航空管制官 田中 秀和 氏
演題：①航空管制官のお仕事と空の道
②管制塔やレーダー室の裏側
昼
⑺AIRIST表彰式
⑻終礼・解散
⑼移動　自動車
⑽航空交流会　カフェ たんぽぽの森
⑾解散

PURPOSE 目的

I.　キャンプ活動を通して次代の指導者育成を行うとともにチームビルディングを行う事

II.　航空業界の専門家との交流会を通じて知識を蓄えるとともにモチベーションアップを図る事

REPORT 活動報告

到着後、テントの設営を行うのですが、設営初心者ばかりの中、知恵と力を合わせ無事完成する事ができました。夕食は2班に分けてカレー対決を行い、具材もジャンケンで勝ちとった物を選び、火おこしや調理の分担を決めて美味しいカレーが出来あがりました。キャンプファイヤーでレクリエーションを行うことにより団員達に一体感と主体性が生まれました。みんなで助け合い、協調性を養うことにより、必然的にコミュニケーション能力が高まり、団員同士の仲がさらに深まるとともに、指導力が高まるキャンプとなりました。

キャンプ終了後、元主任航空管制官の田中 秀和様に来阪していただき、航空管制官の役割や航空機が通る空の道について基本的なご講義の後、17年間の航空管制官としてのご経験を元に、とても興味深い応用的なご講義をいただきました。航空業界を志すの団員達は目を輝かせて講義に夢中になっていました。

執筆　畑部 彩子

Member's Report　Member's Report

シニア隊の定例活動で熊取町のキャンプ場で一泊二日のキャンプをしました。１日目は皆で協力しテントを立てました。午後には男女で班に分かれて炊事をし、カレーを作りました。どちらのカレーもとても美味しく、それぞれの良さがあったと思います。

２日目には熊取町のキャンプ場をはなれ、泉の森ホールで元航空管制官の田中秀和様を招いた航空教室を開催し、航空管制官の方しか知らないような貴重なお話が聞けて、とても素晴らしい体験になりました。

NPO法人TEAM KIX Aviation概要

2020年4月12日に始動した航空業界と地域にエールを届ける空のエールプロジェクト、その第３弾「参の矢」として関西航空少年団の育成組織として同年11月24日に設立いたしました。

関西国際空港と対岸地域の密なる連携体制を構築することで、新たなイノベーションが創出され、双方の発展と繁栄がもたらされます。そして、この繋がりは、持続可能な次代のひとづくりとまちづくりを担う重要なコミュニティ形成につながると確信しています。

関西航空少年団は、今まで、航空業界と行政、地域を結びつける重要な役割を果たしてきたと自負しております。そんな彼らを力強く支え、安定的に活動ができる流れを生み出すべく、設立されたのが弊社です。

子ども達が産官学民のあらゆる価値を結びつける役割を果たし、その結びつきが子ども達を育てる役割を果たすことで、地域内における安定的な人材確保に繋がり、持続可能なSDGs未来都市への道につながると確信しています。

航空業界と地域の結びつきを前提とした、未来につながるひとづくりとまちづくりに貢献してまいります。

NPO法人 TEAM KIX Aviation 役員

代表理事　澤原 弘輔（Financial Director）
代表理事　橋渡 園子（General Manager）
常務理事　根來 多美子（Administrative Manager）
事務局長　新原 真由美（Secretary General）
会　　計　藤原 世津子（Managing Director）
監　　事　北野 豊和（Auditor）
顧　　問　大和屋 貴彦（Executive Adviser）
常務理事　藤原 克也（Managing Director）
常務理事　越智 友輝（Assistant Manager）
常務理事　中尾 亨子（Managing Director）
常務理事　中村 紫苑（Managing Director）
Officer　乙訓 昭法　亀井 真亮　中森 敏美　藤原 健太郎　北野 翔悟　江川 美紀　小橋 幾代　畑部 彩子　内山 由紀子　大島 千恵
中達 雅子　正代 愛子　加藤 綾子　山田 奈里　山口 愛子　西見 多紀　城戸 応絵　久野 政直

※順不同

令和４年度　法人活動

活 動	参加者	活動報告
空の町屋　TEAM KIX Aviation構想		P.21
令和５年新春テイクオフミーティング/ブルーインパルスファンネット写真展	94名	P.22
第44回 航空教室/岩沼航空少年団合同活動	22名	P.23-24
関西国際空港 空の日フェスティバル2022	24名	P.25
クリスマスパーティー/航空少年団体験イベント	30名	P.26
ブループロジェクト		P.27-28

空の町屋 TEAM KIX Aviation 構想

YELL 空のエール プロジェクト
・コロナ禍の暗雲を切り拓く壱の矢から拾の矢の支援で航空業界と地域を元気にするプロジェクト
・関西航空少年団の団員達をはじめ住民それぞれの利他の精神を育むことを目的
・航空少年団の存在価値を再構築することを目的

ATELIER 空のアトリエ プロジェクト
・ものづくりを通してひとつながりを創出
・地域の歴史、伝統文化、習慣を大切にした航空業界とともに発展するストーリーブランディングを実施
・地域内産業におけるあらゆるプレーヤーがイノベーションを創出できる支援
・ブランディング・デザインの支援

LEARN 空の学び舎 プロジェクト
・真の国際人育成と地域産業の振興を両立できるよう日本の伝統文化(Wa)と航空(Aviation)を融合した「Waviation プログラム」で人材育成
・日本の伝統文化を他言語で発信できる真の国際人育成の一環で英会話で観光振興を図る社会実験

産官学民の連携
⇩
イノベーション創出
⇩
持続可能な経済循環

共存共栄のコミュニティ SDGs未来都市

世界に羽ばたくおもてなしの町
⇧
空と町の一体感醸成
⇧
航空少年団の育成

官公庁 × 航空産業 地域産業

支援

未来人材 活力

まちづくり

NPO法人 TEAM KIX Aviation

AIR Mission

Ⅰ 関西航空少年団の活動のさらなる充実化とプロモーション強化
Ⅱ 航空業界に関心のある若い世代の育成による関西国際空港をはじめ航空業界における人材不足問題の解決への貢献
Ⅲ 関西国際空港、航空業界の発展への貢献で地域内経済の循環創出と活性化
Ⅳ 幅広い世代に航空業界をはじめ地域内産業のお仕事を知ってもらうことで地域内産業における人材育成と確保
Ⅴ 対岸エリアの地域経済や地域社会・コミュニティを支える各主体と関西国際空港及び関西国際空港関連の地域並びに業界との架け橋としてのプレゼンスを確保することで南大阪のさらなる活性化

AIR Mission達成の為の特定非営利活動
Ⅰ 社会教育の推進を図る活動
Ⅱ 地域の保健医療または福祉の増進を図る活動
Ⅲ 拠点地域のまちづくりの推進を図る活動
Ⅳ 国際協力の活動

Project
Ⅰ 関西航空少年団育成プロジェクト
Ⅱ 空のエールプロジェクト
Ⅲ 空のアトリエプロジェクト
Ⅳ 空の学び舎プロジェクト
Ⅴ 空の町屋 TEAM KIX Aviation構想

ひとづくり 航空少年団育成

関西航空少年団育成会プロジェクト

運営支援

関西航空少年団の下記活動を円滑に実施し、持続可能な運営を可能とする事務・渉外等を支援
・活動頻度
ジュニア隊：毎月１回の活動・団員会議
シニア隊：２ヶ月に１回の活動・団員会議
リーダー隊：毎月１回のリーダー会議、ジュニア シニア隊活動での指導・引率
・活動内容
規律訓練、セスナ・ヘリコプター飛行体験、パラグライダー飛行体験、ハイキング、キャンプ合宿、水上スポーツ体験、航空研修、航空施設見学、茶道研修、伝統工芸体験、キャリア教育、奉仕活動、雪上スポーツ体験、各種団体交流事業など
・各種機関・団体の支援制度の手続き・折衝
・役員会運営

活動領域拡大支援

・関西航空少年団機関紙「BE AIR」発刊を通した支援者の発掘
・支援者との繋がり、航空業界をはじめ各業界、官公庁との繋がりを強化することで活動領域を拡大

FAN獲得支援

・団を支援する有志団体「AIRIST FAN」の育成
・航空や茶道・書道イベントを通した関係人口の増加
・SNS等を活用したFANの発掘
・オリジナルグッズの開発

広報支援

・関西航空少年団機関紙「BE AIR」の発行
・ポスター、ビラ等の制作

人材育成支援「Waviation プログラム」

塾 AIR Ambition
・哲学、歴史観、プレゼン力を養う講座
・未来の指導者育成
・月２回実施（オンラインとリアル並行）

航空教室 AIRBORNE
・航空知識をインプット・アウトプットする講座
・月１回実施（オンラインとリアルを交互）

茶道教室 茶論 de AIR
・日本の総合文化「茶道」を通じた人格形成と真の国際人育成
・伝統工芸品を通して本質を見極める目を養う
・２ヶ月に１回実施

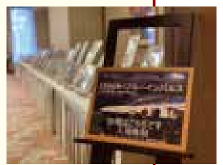
Feb.26.2023
ホテル日航関西空港

令和５年新春テイクオフミーティング
ブルーインパルスファンネット写真展

みんなの夢を乗せた希望の飛行“器”が離陸！
色んな可能性が広がる共存共栄の空の町屋へ!!

SCHEDULE

(1) 第Ⅰ部 航空教室 AIRBORNE with さのまちゼミ　1階 白鳥の間
①開会
②団長挨拶
③航空教室 AIRBORNE
講師：PeachAviation株式会社
顧問 角城 健次 氏
演題：伝説のパイロットが語るPeachの成長戦略
④質疑応答
⑤閉会
(2) 第Ⅱ部 NPO法人TEAM KIX Aviation設立総会
1階 白鳥の間
①開会
②代表理事挨拶
③来賓紹介
④祝電披露
⑤第５回 ブループロジェクト報告会
⑥総会
⑦閉会
(3) 第Ⅲ部 懇親会 KIX Aviation Party
11階 ジェットストリーム
①開会
②来賓挨拶
③来賓紹介
④乾杯
⑤歓談
⑥余興
・六花（よさこい演舞）
・泉州ソーリャ踊り子隊（よさこい演舞）
・強力 翔 氏（手話パフォーマンス）
⑦PRタイム「SKY PEAK」
⑧ジャンケン大会
⑨閉会
⑩記念撮影



PURPOSE 目的

Ⅰ. 関西航空少年団育成組織であるNPO法人TEAM KIX Aviationの設立を宣言し認知度を向上する事
Ⅱ. 関西航空少年団が航空業界と地域の産官学民の架け橋となることで人材育成と確保の循環を促進するとともに地域内経済におけるイノベーションを創出することで持続可能な繁栄を実現できる共存共栄のコミュニティを構築する事
Ⅲ. ブループロジェクト報告会とブルーインパルスの写真展を開催することでブルーインパルス招致の機運醸成を図る事

REPORT 活動報告

コロナ禍の緊急事態宣言下の2020年4月12日から始動した、航空業界と地域にエールを届ける空のエールプロジェクトの第３弾「参の矢」で、11月24日に関西航空少年団を育成するNPO法人TEAM KIX Aviationを設立しました。コロナ禍を脱却し、大阪・関西万博から開かれる新時代に飛躍することを目的に命名した「テイクオフミーティング」として、法人の設立総会、航空教室、懇親会の３部構成で開催いたしました。
伝説のパイロットとして名を馳せたPeach Aviation株式会社 顧問の角城 健次先生の航空教室から出発し、設立総会におけるブループロジェクト報告会でランディング、そして多くの来賓・支援者の方々をお迎えした盛大な懇親会で無事離陸を果たす事ができました。

航空業界と地域の架け橋となり、地域内で次代の「AIRIST」を育成し、空港のある空の街としてのイノベーション創出を促し、持続可能な繁栄を築き上げるコミュニティづくりの第一歩となる素晴らしい光景が所々で見受けられました。
このような機会創出を促進しながら、関西航空少年団のさらなる育成を通じて、航空振興、経済振興、地域活性化に貢献してまいります。
執筆　大和屋 貴彦

Member's Report

総会に行ってきました。まず伝説のパイロットの角城さんからのお話がありました。Peachについての話をしてくれました。少しわかったので、もっと詳しく調べてみようと思いました。
その後にブループロジェクト報告会がありました。いつもより人数も多かったから緊張したけど、できるだけ大きな声で頑張れたので良かったなぁと思いました。
最後のパーティーはいろんなよさこいが見れたり、Dear Skyを踊ったり、ジャンケン大会をしたりしながら、おいしいものをたくさん食べれたので最高でした。

Oct.8-10.2022

第44回 航空教室/岩沼航空少年団合同活動

1日目　ホテル日航関西空港/関西国際空港 T1・T2
PeachAviation株式会社/関西空港海上保安航空基地
大阪府立青少年海洋センター
2日目　大阪府立青少年海洋センター
3日目　大阪府立青少年海洋センター
航空保安大学校/関西エアポート株式会社

全国から集う航空少年団幹部候補生と切磋琢磨!
大阪団と関西団でKIXと大阪の魅力を活かした航空教室を実現!!

SCHEDULE

1日目
昼
⑴集合　ホテル日航関西空港
⑵開講式
①開式の辞　②国歌斉唱
③研修生紹介　④本部長訓示
⑤開催地団長挨拶　⑥誓いと心構え
⑦講師・スタッフ紹介　⑧閉式の辞
⑶来賓紹介
⑷基調講演
講師：航空少年団本部 本部長 岩崎 貞二氏
演題：空港を建設するには、また、空港はどう運営されているか
- 新関西空港を中心に -
⑸パネルディスカッション
パネラー：関西エアポート株式会社
執行役員 江村 剛氏
Peach Aviation株式会社
代表取締役社長CEO 森 健明氏
泉佐野市長・関西航空少年団
名誉顧問 千代松 大耕氏
コーディネーター：関西航空少年団
顧問 大和屋 貴彦
テーマ：大阪・関西万博から飛躍するミライについて
⑹航空現場視察
テーマ：「世界を迎える成長戦略の最前線を視る」
①関西国際空港 第1ターミナル 視察
②PeachAviation株式会社 本社
同空港 第２ターミナル 視察
⑹岩沼航空少年団合同活動
①移動　チャーターバス
②関西空港海上保安航空基地 視察
夕
⑺移動　チャーターバス
⑻到着　大阪府立青少年海洋センター
⑼入所オリエンテーション
(10)夕食
夜
(11)集団基本行動訓練講義
(11)キャンプファイヤー
(12)ヨットに関する講義
(13)入浴
(14)スタッフミーティング
(15)消灯

PURPOSE 目的

I.　各航空少年団の指導者とその候補生に対し、様々な研修プログラムを通して団員を指導するために必要な航空に関する知識及び技能を習得させると共に各地の団員同士の親善を深める事

II.　関西国際空港と南大阪が有する資源を活用した独自の研修プログラムを通して大阪・関西万博から飛躍するミライを共有する事

III.　関西航空少年団育成会として全国の航空少年団員の研修環境を整えると共に活動拠点地域の魅力を発信する事

REPORT 活動報告

大阪航空少年団と共同主催し、航空少年団本部事業の第44回 航空教室をリアルとオンラインのハイブリッド形式で開催しました。全国13団の内合計8団より17名の幹部候補の研修生が参加し、関西団からも定数である2名の団員が参加しました。

開講式の後、関空誘致に携わられた航空少年団本部 本部長 岩崎 貞二様による基調講演を行なった後、泉佐野市長 千代松 大耕様、Peach Aviation(株) 代表取締役社長 CEO 森 健明様、関西エアポート(株) 執行役員 江村 剛様をパネラーに迎えて大阪・関西万博から飛躍するミライについてパネルディスカッションを行い、コロナ禍を脱却した先の明るい未来ヴィジョンを共有しました。その後、T1リノベの進捗状況やT2の現状、Peach本社の見学を通して着実に成長する航空業界の姿も共有することができました。

2日目は、午前にOPヨット訓練で、飛行機の様に風を受けコントロールするセーリングの醍醐味を味わいました。午後にカッター訓練を行い、みんなで力を合わせてがんばりました。夜の各団活動発表会は各団の素晴らしい活動や取組を拝聴し、代表団員にとって貴重な刺激となり自分達の課題を見出す事もできたようです。

3日目は、国土交通省　航空保安大学校を視察させていただいた後に、関西エアポート(株)にて閉講式が執り行われ、研修生に終了証書が授与されました。

コロナ禍で2年間延期され、待望の開催となった第44回 航空教室の開催にホスト団として携わり、全国の団員と本部との交流を通して、多くを学ぶ事ができた貴重な経験となりました。

執筆　畑部 彩子

SCHEDULE

2日目
朝
⑴起床
⑵朝礼・基本行動訓練
⑶ロープワーク訓練
⑵・⑶本部訓練 見学
⑷朝食
⑸部屋掃除・準備
⑹OPヨット訓練
⑹カッター訓練
昼
⑺昼食
⑻カッター訓練
⑻OPヨット訓練
⑼航空管制に関する講義
⑼調理（カレーライス）
夕
(10)夕食
夜
(11)全団報告発表会・意見交換会
(11)本部活動 見学
(12)入浴
(13)スタッフミーティング
(14)消灯

3日目
朝
⑴起床
⑵朝礼・基本行動訓練
⑶部屋掃除・退所点検
⑷朝食
⑸移動　チャーターバス
⑸移動　自動車
⑹到着　国土交通省 航空保安大学校
⑺国土交通省 航空保安大学校 視察
⑺クルージング体験(関空・飛行機見学)
協力：いずみさの関空マリーナ
⑻移動　チャーターバス
⑼到着　関西エアポート株式会社
(10)閉講式
①開式の辞
②国歌斉唱
③修了証書授与
④講評
⑤謝辞
⑥閉式の辞
昼
(11)解散
(11)交流会　青空市場・海鮮焼市場
(12)移動　徒歩
(13)到着　旧新川家住宅
(14)さの町場歴史散策
夕
(15)到着　南海 泉佐野駅
(16)移動　南海電車
(17)到着　関西空港駅
(18)送別・解散

岩沼航空少年団合同活動　※SCHEDULE内の青字：合同活動

創立30周年記念行事で第44回 航空教室に合わせて岩沼航空少年団が来阪されましたので、関西航空少年団との合同活動を実現しました。関西国際空港、南大阪、泉佐野市における活動を通してそれらの魅力を堪能していただきながら団員相互の交流を図りました。

Member's Report　Member's Report

自分は今回初めての参加で、人との関わりもそんなに得意ではないので、仲良くできるか、他の団の方々とちゃんと交流できるか不安でした。ですが、年が近かったり、趣味が同じだったり、航空についての話題もあったため、割とすぐに仲良くなれて安心しました。特に、基本行動訓練や、二日目のカッター訓練、自由時間で行ったドッヂボールでは、より一層親交や団結力が深まったと感じました。自分は来年度受験生なので、次の全国航空教室には参加出来ないかもしれませんが、また彼らと交流をしてお互いの団のことや、地方のことを知れたらいいなと思います。

法人活動

Nov.3.2022

関西国際空港 空の日フェスティバル2022

関西国際空港 関空展望ホール Sky View

空のエールフェスティバルがカタチに!?
憧れの空の日イベントで航空FANをお出迎え!!

SCHEDULE

朝
⑴集合　JR 日根野駅
⑵移動　JR 阪和線電車
⑶到着　関西空港駅
⑷移動　バス
⑸到着　関空展望ホール
⑹空の日フェスティバル 参加
班ごとに分かれて各ブース運営と空の日イベント参加
①ブルードリームキャンディーブース
　1F メインホール前
　ブルーインパルスをイメージした綿菓子の提供
②トルネブルーワークショップブース
　メインホール 3F
　ブルーインパルスをイメージしたタッセル・マクラメの製作
昼
③第3回ブループロジェクト報告会
　エントランスホール 2F
　ブルーインパルス展示飛行招致PTの活動報告と構想発表
④みんなでつながるDearSky
　メインホール 4F スカイデッキ
　航空業界にエールを届けるダンス・手話を披露
夕
⑺撤収作業
⑻移動　バス
⑼到着　関西空港駅
(10)移動　JR 阪和線電車
(11)到着　JR 日根野駅
(12)AIRIST表彰式
(13)終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　活動ベースの空の日イベントでのブース出展を通じて来場者に航空業界の魅力と関西航空少年団の活動・NPO法人TEAM KIX Aviationの取組を広報する事

II.　ブース運営を通じて仲間との円滑な連携の大切さとイベント運営の本質を学ぶ事

III.　ブループロジェクトの活動報告会を通じて関西国際空港へのブルーインパルス招致に対する理解と機運を醸成する事

REPORT 活動報告

「空の日フェスティバル 2022」で、綿菓子やタッセル・マクラメのワークショップブース出店、イベントスペースでの関空の空にブルーインパルスを招致するブループロジェクト報告会を行い、多くの来場者が、関西団の活動に興味をもって団員達の説明に真剣に耳を傾け、「応援してるよ」「頑張って」と沢山お声がけしていただきました。

コロナ禍終息のタイミングに開催企画してきた「空のエールフェスティバル」を2021年度にオンライン実施に切り替えて見送ってきた中、関西国際空港で毎年行われてきた空の日イベントの名称に「フェスティバル」が追記され、そのイベントでコロナ禍でもみんなでつながる「Dear Sky」ダンス・手話のパフォーマンスを例年入団式を挙行するスカイデッキの素晴らしい光景をバックに、航空業界や一般の方々にリアルで初披露させていただきました。最後にポーズを決める後ろから、離陸する飛行機が迫ってくる奇跡的なシーンが感動の最高潮を演出する光景に、コロナ禍に負けずに活動を続けてきた団員達の底力を実感するとともに、航空業界、世の中が元気になるよう、空のエールプロジェクトを続ける決意を新たにしました。

執筆　中尾 亨子

Member's Report　Member's Report

関西航空少年団はタッセル制作ワークショップや綿菓子販売を行いました。綿菓子はブルーとピンクの2種類用意しました。予想以上に大勢の人が来場し、大盛況でした。これまでコロナで思うような活動がなかなか出来ない日々でしたが、にぎやかな会場の雰囲気に元気づけられました。ブルーインパルスの招致PRもさせていただきました。大阪の空を力強く飛行するブルーインパルスは、みんなを勇気づけ、心を一つにしてくれると思います。いつの日か必ずその日が来る事を願っています。航空業界に携わる沢山の人と空の日を共に過ごし、僕たちのふるさと「関西」をもっと盛り上げていこう!という気持ちが益々大きくなりました。

法人活動

Dec.18.2022

クリスマスパーティー/航空少年団体験イベント

泉佐野市役所・泉佐野市議会

3年ぶりのクリスマスパーティーでみんなの絆ガッチリ!
入団体験、航空教室、航空テスト、紙ヒコーキ教室、ブルー報告会と盛り沢山!

SCHEDULE

朝
⑴集合　泉佐野市役所玄関
⑵班別会議/役員設営　3階 会議室
⑶クリスマス交流会
①関西航空少年団クイズ大会
②班対抗ゲーム
昼
⑷昼食/航空少年団体験イベント参加者受付
⑸航空教室「AIRBORNE」
　講師：元ANA機長
　　元関西航空少年団 隊長 乙訓 昭法 氏
　演題：航空雑学
⑹関西航空少年団航空テスト
⑺団員主催 紙ヒコーキ教室/家族・役員交流会
⑻結果発表会
⑼プレゼント贈呈式
(10)第4回ブループロジェクト報告会　5階 泉佐野市議会 議場
　発表：TEAM dreamers
　演題：ブルーインパルスを関空に！
(11)クイズ大会
夕
(12)撤収作業
(13)AIRIST表彰式
(14)終礼・解散

PURPOSE 目的

I.　クリスマスパーティーを楽しみながら、家族や仲間への感謝を深める事

II.　入団を検討する子ども達に紙ヒコーキ製作指導を行うことで指導力と積極性を養う事

III.　１年間の活動を振り返り来年度の新たな目標に向かって心を改める事

REPORT 活動報告

午前は、世界に１つだけのオリジナルマクラメを一生懸命作った後、クイズ大会・班対抗ゲーム勝ち抜き戦は、団長によるクスッと笑える問題や年齢を超えての真剣勝負に大いに盛り上がりました。午後は、入団希望者も含め、元ANA機長で元関西団団隊長の乙訓 昭法氏による航空教室で、歴史を含む航空雑学についてみんなで学びました。航空教室や当年度の活動内容から出題される航空テストも実施され、記憶の糸をたぐりながら一生懸命。保護者の方々へ入団説明会の間、紙ヒコーキ大会や航空テスト結果発表を通して入団希望者と団員との触れ合いも見られました。

最後に、ブルーインパルスを関空の空に招致する「ブループロジェクト」の始まりの場所 泉佐野市議会 議場でTEAM dreamersによる第4回 ブループロジェクト報告会が行われました。一人一人壇上に立つ緊張感を味わいながら議員さながらの立派な姿で発表することができました。発表後ブルーインパルスのクイズ大会を行い、プレゼント争奪戦になりながらも笑顔で、一年の活動を締め括ることができました。

執筆　内山 由紀子

Member's Report　Member's Report

クリスマスパーティーでアクセサリー作りやブルー報告会をしました。アクセサリー作りはタッセルを作りました。タッセル作りはとても難しくて何回もやり直したけど慣れたら少し簡単になってきました。完成するととてもかわいいタッセルが出来上がったので嬉しかったです。

ブルー報告会は泉佐野市議会でお話させて貰えました。議会は前回の報告会をした場所とは全然違ったし、前回より企画を深く話すということだったので、夜遅くまでパワポ作成をしました。読むところも増えたので家でもたくさん練習してがんばりました。本番はとても緊張したけど、思っていたより上手く話すことができて嬉しかったです。

関西航空少年団発団30周年記念式典

参加登録

日　時　2024年2月24日（土）

会　場　ホテル日航関西空港 1階 白鳥の間

第12回 ブループロジェクト報告会
13:30〜14:45（14時15分頃）
発表者：TEAM dreamers
テーマ：100KIX30th
ブルーインパルスを関空の空に!

航空教室 AIRBORNE
16:00〜17:40
講 師：株式会社アストロスケール MD室 副社長
前航空幕僚長　井筒 俊司 氏
演 題：「飛行機と空と宇宙にあこがれて」

TEAM dreamers
関西航空少年団 with NPO法人 TEAM KIX Aviation

Blue Report vol.4 ---TEAM dreamers activity reports---

いよいよ大詰めのブルーインパルス招致活動速報

大阪府知事表敬訪問

1番緊張した表敬訪問でしたが全力で私たちの気持ちを伝えたことで、吉村洋文知事に応援していただけることになって嬉しかったです。
Hina

9市4町首長表敬訪問

夏休み中に、9市4町の首長表敬訪問に行きました。多くの首長さんが賛同してくれたので嬉しかったです。

Akari✨

第100回石巻川開き祭り展示飛行視察

石巻川開き祭りで見たブルーは迫力があり、とても感動しました。来年はみんなと泉州の空に飛ぶブルーを見たいです。

Soshi🍎🍏

F１日本グランプリ決勝戦展示飛行視察

鈴鹿サーキットのF1日本グランプリ決勝のブルー飛行を観に行きました。真上を飛ぶブルーはとても圧巻でした。サクラが美しく印象に残っています。
Taishi🌏

元ブルーインパルスパイロットとのブルーセッション

本物のドルフィンライダー、エデンさんに圧倒されつつも貴重で有意義なお話を聴くことができました。

kenkix

第5回 みらい泉佐野こども議会参加

私は、こども議会でブルーインパルスを招致する為のみんなの航空祭を開催したいと提案し、泉佐野市議会が応援してくれることになりました。
RINRIN✈️

南大阪振興促進議員連盟との意見交換会

今回9市4町の議員さんに議会の一般質問でブループロジェクトに関する質問をしていただくというご支援をしていただきました。

kimura

TEAM dreamers発足

外部の方も参画した新たなTEAM dreamersが発足しました。編集に携わった企画書を大阪府知事にも直接お渡しし、実現は目前です。

単眼相

ぜひブループロジェクトを応援してください！

Ⅰ SNS で応援！
私たちの活動をシェア・リツイートしていただいたり、みなさんのSNSに次のハッシュタグをつけたキーワードを投稿していただけると嬉しいです。　**# ブルーインパルスを大阪関西に　# ブルーインパルス来て**

Ⅱ NPO 法人 TEAM KIX Aviation の会員として応援！
関西航空少年団の育成団体であるNPO法人 TEAM KIX Aviationの会員になってブルーインパルス招致活動にかかわってみませんか。航空に関する勉強会や交流会、見学会、イベント等も行います。

会員登録

Ⅲ オリジナルの#ブルーインパルス来て!!泉州タオルを使用して応援！
下記のご寄付に応じてオリジナル泉州タオルを進呈いたします。
非会員：1口 1,000円で1枚進呈
会　員：1口 500円で1枚進呈（上記Ⅱでご入会いただけます）
申　込：下記メールアドレスに次の項目についてご連絡いただければ手続きについて返信させていただきます。
(1)会員・非会員　(2)ご芳名　(3)希望口数　(4)郵送先住所
※送料は着払いとさせていただきますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

NPO法人TEAM KIX Aviation・関西航空少年団　〒598-0023　住所：大阪府泉佐野市大木144番地
Mail：sfakansai@gmail.com　HP：https://sfakansai.jimdofree.com
編　集　SFAブランディングチーム「空のアトリエ」　デザイン　あとりえ彩葉

関西航空少年団 航空教室 AIRBORNE

第肆講

AIR BORN COLUMN

ボーイング機とエアバス機に乗務して

角城健次 Kakujo Kenji

1951年生まれ。大阪府堺市出身。航空大学校卒業後の1974年にANAに入社。ANAでは国内線と国際線（北米、欧州、アジア、オセアニア線）に乗務。皇室フライト・海外国家元首フライト・日本人救出フライト・北朝鮮フライトなどの特殊な運航も行い、これらの経験も含めて「伝説のパイロット」と呼ばれていた。2011年Peachに移籍し会社立ち上げに奔走。運航開始後は「空飛ぶ副社長」として乗務も行う。2010年に国土交通大臣表彰受賞、2012年に黄綬褒章受賞。2019年12月にラストフライト。2022年6月からPeach顧問。

みなさん、こんにちは。Peachの角さんです。私は、1971年に航空大学校へ入学し、飛行機の操縦方法を学び、1974年にパイロットとしてANAに入社しました。入社後、最初に乗務した飛行機は日本製の64人乗りプロペラ機YS-11でした。YS-11は、パイロットが操縦桿から直接的にケーブル（針金を束にした金属線）を介してエルロン（補助翼）・エレベーター（昇降舵）・ラダー（方向舵）を動かすので相当に大きな腕力が必要な飛行機でした。人力で操縦する最大の飛行機でしたね。これよりもデッカイ飛行機は油圧の力を利用しなければ操縦ができません。

私は、YS-11の次に、ボーイング737、その次はボーイング767、ANAでの最後の機種はボーイング777です。ANAでは飛行時間の85％はボーイング機で記録しています。

ところが2011年、私が59歳の時「関空にLCCの航空会社を創るから、そこへ行ってくれ」というANAからの社命を受け、Peachに赴任しました。そして、Peachの導入する飛行機がエアバス社のA320でしたから、私は59歳という高年齢で新たにA320のライセンスを取得するための訓練・試験を受けなければなりませんでした。

これまでANAで主に乗っていたボーイング機と、新たにPeachで乗るエアバス機、飛行機そのものの構造は、エアコン系統も電気系統も、燃料系統も油圧系統も、基本的には「ほぼ同じ」であり、大きな差はありません。

飛行機を操縦する際の操作については、ボーイング機はパイロットの前にある操縦桿で操縦しますが、エアバス機はパイロット席横の壁際にあるサイドスティックを使って操縦しますから、ここが大きな相違点に見えます。しかしながら、

私の飛行時間

航空大学校で	230時間00分
ANAで	
YS-11	1,921時間15分
ボーイング737	1,491時間34分
ボーイング767	8,087時間17分
ボーイング777	2,228時間44分
Peachで	
エアバスA320	1,201時間48分
合　計	15,160時間38分

ボーイング機とエアバス機での「用語の違い」の例

	ボーイング機	エアバス機
パワーレバーの呼び名	スロットルレバー	スラストレバー
オートパイロット等のスイッチがあるパネル	MCP	FCU
離陸を中止する時の用語	リジェクト	ストップ
三つの油圧系統の呼び方	レフト・センター・ライト	ブルー・グリーン・イエロー

実際に飛行機を操縦する時は目の前の計器「姿勢指示器」を見ながら操縦桿なりサイドスティックを動かして操縦しますので、最初の違和感は30～40分程で消え、直ぐに慣れることが出来ました。

一方、訓練・試験で一番辛かったのは「用語の違い」でした。色々なスイッチ類、コンピューター部品など、中身や性能は同じようなものなのに名前や呼び方が違うんです。これには参った。

両社で別々の異なる名前を付けているので、覚えるのが一苦労でした。若い人なら直ぐに馴染むでしょうが、60歳直前の私には、脳みその中にボーイング式の名前が染みついていて、それをエアバス式の呼び名に切り変えるのは、ほんまに、ほんまに苦労しました。

さて、ボーイング機とエアバス機、一番の大きな違い、それは両社の「設計の考え方」です。ボーイング社は「パイロットが中心に居て、その周りをコンピューターが支える」という考え方で設計しており、一方でエアバス社は「コンピューターが中心に居て、パイロットが横からコンピューターを監視する」という考え方で設計しています。「安全への配慮とパイロットの業務量」への視点からそれぞれ設計方針が異なりますが、両社の「設計の考え方」を理解すれば、どちらの飛行機でも乗り熟せます。

私は19歳の時に航空大学校で飛行機の訓練を受けてから48年間もの長い間、飛行機を操縦してきました。パイロットは特殊な人だけではなく自転車に乗れる人は皆、パイロットになれます。自転車に乗れる人が訓練を受ければセスナ機は操縦できるようになります。但し、旅客機のパイロットになるには、

さらに「安全」を守れる運航が出来る能力が必要になります。この能力も、種々の勉強と訓練と試験を受ければ、そして経験を重ねて行けば身についてきます。

【安全に向けたパイロットの心構え】

３次元の空を飛ぶ旅客機のパイロットは、自分のパイロットとして備えている能力を、常時、使っている訳ではありません。パイロットとしての能力の100%の内、たった20%だけの能力を使って飛行機を操縦します。

管制官や会社無線との交信のために10%の能力を耳に注ぎます。

お客様やCAの動きなど、客室内の様子に対して10%の能力を使います。

様々なことに対する「判断力」のために、脳に10%の能力を注ぎます。

これら４つを足すと50%になります。即ち、パイロットは、自分の全ての能力の内の50%で通常の運航を行っています。

残りの50%の能力は使っていないの？

私達、パイロットは、通常、残りの50%の能力をポケットに入れて温存しています。そして、「いざ！緊急事態」、例えば、飛行中にエンジン故障が起きたような時に、残りの50%の能力を出して来て、この事態に対処します。即ち、能力の半分を緊急事態用に備えながらも、半分の能力で通常の運航を「安全」に飛ばしています。これを出来るのが、旅客機のパイロットです。

みなさん、安心して飛行機に乗ってください。

関西航空少年団 航空教室 AIRBORNE

第伍講

AIR BORN COLUMN

きっかけは一冊の雑誌

前川宗（Hachi）公式Instagram

空の架け橋 CH8

一般社団法人 空の架け橋　代表理事
株式会社 HighRate　代表取締役
前川　宗　Maekawa Sou

1981年3月生まれ。高校卒業後に航空学生として航空自衛隊へ入隊。
在籍期間20年のうち15年間をF-15戦闘機パイロットとして過ごす。
また当時最年少で最強部隊である飛行教導群アグレッサーに異動、戦闘機パイロット最高峰の称号を取得し激しくも厳しい任務を遂行。38歳で退官後は起業家となり複数の会社の取締役を務める一方で、空の架け橋代表理事として講演や学生教育など積極的に行っている。

皆さんこんにちは。今回は、関西航空少年団機関紙「BE AIR」に寄稿するという貴重な機会をいただいたので、戦闘機パイロットの世界について私の経験を基にお伝えできればと思います。

高校２年生の冬、初めて航空自衛隊のブルーインパルスのことを知りました。当時の自分は、将来について「人を助けたい、人の役に立つ仕事に就きたい」くらいの漠然とした思いしかなく、職業など具体的な目標を持てずにいました。そんなある日、サッカー部の部室で先輩が読んでいた雑誌の表紙に心が奪われたのです。そこには一糸乱れぬ隊形でスモークを出しながら華麗に舞うブルーインパルスの姿がありました。迷うことなく直ぐに本屋に行きブルーインパルスについて調べると、飛ばしているのは航空自衛隊のパイロットだと分かりました。航空自衛隊は、日本の空を守る存在で、ブルーインパルスのようにアクロバット飛行する飛行機だけでなく、戦闘機、輸送機、救難機などを運用していて、さらに高校を卒業してすぐパイロットへの道が開ける「航空学生」の採用試験があることも併せて知りました。それまで決して身近ではなかったパイロットという存在を、将来の目標として意識するきっかけとなったのです。

航空学生として航空自衛隊に入隊してからは、５年の年月をかけてウィングマーク（技能証明）を取得し、さらに５年を経た３０歳手前で戦闘機パイロットとして１人前になっていきます。そう聞くと長い道のりだと感じる人がいるかもしれませんが、それだけ難しくもやりがいがあり、後の自信につながったと実感しています。ここでは、職業柄、避けては通れない３次元の苦労を紹介します。２次元で生活する場合と勝手が大きく異なるため、戦闘機を３次元で飛ばすのに戸惑うことは多々ありました。戦闘機が一度離陸すると「止まって考える」という時間的猶予はありません。マッハ（音速）を超える速度で飛行する戦闘機では、素早い判断が継続的に求められます。マッハ１であれば、１秒間で３４０ｍ進み、ちょっと考える･･･といって３秒経てば１㎞以上も進みます。そんな世界で必要とされる判断の速さがどれほどか何となく想像していただけるのではないでしょうか？

空には目に見えない道（航空路）や空域がある。ということをご存知の方は多いと思いますが、戦闘機同士が連携して編隊を組みながら、その道、エリアを外れずに飛行するのは意外と難しいということはあまり知られていないかもしれませんね。距離がマイル（海里）、高さがフィート、速さがノットである計器を即座に読み解く必要があり、何もかもが初めての頃は慣れるまで大変だったことは言うまでもないでしょう。更に、上空では身体の自由を奪うような装備（耐Gスーツ、ライフジャケット、ヘルメット、酸素マスク、冬場にはこれに耐水服が追加）を装着します。このような環境下において、たった一人で戦闘機を操縦するということは、過酷以外の何ものでもありません。

一人前になっても、戦闘機乗りの道に限界はありません。３次元の世界における苦労を乗り越え、息をするかのように自然と戦闘機を操縦し、今の自分は何でもできる、怖いものなんてないという自信をつけた頃、完全に鼻をへし折られる経験をしました。熟練者の中ではまだまだ足りないことだらけだと身をもって実感させられたのです。ぐぅの根もでないとは正にこのことでした。自分の未熟さを認める悔しさと熟練者への強い憧れが入り混じる感情の中で、技術を磨き強くなるためには何をすべきか考え続けました。そして、この経験を経て得たのが「みえる」という感覚です。対峙する相手が次に取れる選択肢が複数ある場合、コンマ何秒の中で得られる情報で何を選択したかが分かり、さらにその先手を打てるというように、「状況を全て把握していて、みえている（先が読める）」感覚を手にすることができました。

戦いの世界では、ルールはあってないようなもの。勝つためにはどこまでも追及する世界です。孤独で厳しい世界に見えるかもしれませんが、振り返ると自分を引き上げてくれた上司、憧れた先輩、切磋琢磨した同僚など多くの出会いが自分を成長させてくれたことは間違いありません。皆さんも何かに心が揺さぶられたら、自分から能動的に一歩行動してみてください。そこには新しい世界が広がっているに違いありません。

Kansai International Airport Discover KIX ディスカバー キックス Vol.5

持続可能な社会の実現に向けて 関西国際空港の環境の取り組み

大阪湾の海上に建設された関西国際空港。
24時間眠らない空港ですが、空港の取り組みは安全な飛行機の離着陸の場を提供するだけではありません。
「関西国際空港でできる環境の取り組みについて考える」
ちょっと意外？なこんなお仕事もあるのです。

関西国際空港の環境の取り組みって世界的に見て実際どうなの？

関西国際空港はACIからACA*レベル４を日本で初めて取得しました。

＊ACA(Airport Carbon Accreditation：空港カーボン認証)：2009 年に空港会社の国際機関であるACI(Airports Council International：国際空港評議会)によって作られたプログラムであり、認証空港は全世界へ広がり、2022年9月時点で411空港にのぼります。空港向けの国際カーボン管理基準としては唯一のものであり、各レベルの概要は右記のとおりです。

各レベルの概要

Level 4+ (Transition)
レベル4の要件を満たした上で、空港運営者が排出したCO_2排出量のオフセットによる相殺

Level 4 (Transformation)
絶対的CO_2排出量の削減を達成するため、空港運営の変革と空港関連事業者の関与強化

Level 3+ (Neutrality)
レベル3の要件を満たした上で、空港運営者が排出したCO_2排出量のオフセットによる相殺

Level 3 (Optimisation)
空港関連事業者も関与したCO_2排出量の削減

Level 2 (Reduction)
空港運営者が排出したCO_2排出量の削減に向けたカーボンマネジメントを実施

Level 1 (Mapping)
空港運営者が排出したCO_2排出量の算定

環境に関連する施設や設備

1 KIXメガソーラー
発電容量が11.6MWのメガソーラーが設置されています。

2 小形風力発電機
空港内に3基設置しています。発電した電力は、街路灯に利用しています。

3 水素ステーション
燃料電池自動車用と、フォークリフトなどの産業車両用で2カ所設置されています。

4 EV用充電器
EV用充電器を設置し、エコカーの利用拡大に対応しています。

7 藻場
空港島周辺の護岸を緩傾斜石積護岸とすることで、海藻類が繁茂し、魚介類のすみかとなっています。

5 熱供給プラント
冷温熱（冷水・蒸気）の供給を一元的に行う地域冷暖房システムを導入しています。

6 浄化センター（排水処理施設）
各施設から出る排水は空港内にて浄化し、中水として再利用しています。

9 環境コーナー
関空展望ホールでは、環境に関する情報や取り組みを広く発信しています。

10 KIXそらぱーく
大規模な緑化公園として海と緑を同時に楽しむことのできる空間を整備しています。

8 クリーンセンター（廃棄物処理施設）
空港内で発生した一般廃棄物を分別し、焼却もしくはリサイクルをしています。

11 太陽光パネル
第2ターミナルビル屋根で発電された電気は、自家消費しています。

環境にやさしい空港
素敵やん

©Kansai Airports

NPO法人 TEAM KIX Aviation crew（会員）募集

NPO法人TEAM KIX Aviationは関西航空少年団の活動が円滑に展開できるように支援し子ども達の夢への一歩を応援します。また、関西航空少年団と共に公益活動を行い社会に活力をもたらせることを目標にしています。
次代を担う青少年の活動を支援しながら、共生共栄を目指した新たなコミュニティの一員となっていただけませんか？

TEAM KIX Aviationが目指すこと（AIR MISSION）

1. 関西航空少年団の活動のさらなる充実化とプロモーション強化
2. 航空業界に関心のある若い世代の育成による、関西国際空港を始め航空業界における人材不足問題の解決への貢献
3. 関西国際空港、航空業界の発展への貢献
4. 幅広い世代に地域産業の仕事を知ってもらうことで、地域内産業における人材育成と確保、及び地域内経済の循環創出と活性化
5. 関西国際空港対岸エリアの地域経済や地域社会・コミュニティを支える各主体と関西国際空港及び関西国際空港関連の地域並びに業界との架け橋としてのプレゼンスを確保することで、南大阪のさらなる活性化に寄与すること

crew（会員）の活動

航空教室・ツアーなどの航空関連イベントや茶道・講和等の啓発事業にご参加いただけます。

特別講演会やイベント開催時のボランティアのご協力をお願いします。

crew(会員)申し込み方法

右記QRより会員申し込みページへお進みください。

年会費

年会費3,000円　以降１年毎に自動更新（クレジットカード決済）

入会資格

1．大学生以上であること
　＊法人が行う活動を理解し、自己の意思により入会を希望する方
2．NPO法人TEAM KIX Aviation会員のお子様（幼児無料）

寄付のお願い

～大空でつながる新しい時代へ～　NPO法人TEAM KIX Aviation

関西航空少年団及びTEAM KIX Aviationが展開してきた"空のエールプロジェクト"は拾の矢を集大成としてプロジェクトを完結すべく進めてまいりました。しかし、まだまだコロナ禍の影響は強く、今後もより多くの力を必要としています。
関西航空少年団員が従来の活動を大切にしながら、引き続き"空のエールプロジェクト"ほか、多くの公益活動を円滑に展開できるように考えた結果、育成会にあたるNPO法人TEAM KIX Aviationを立ち上げ、広く寄付を募集させていただく運びとなりました。関西航空少年団を支えながら、"TEAMの力"で明るい未来を創生すべく、今一度皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

A　継続寄付

月々の継続寄付
1,000円～/月のクレジットカード決済

B　1回寄付

1口3,000円からのお願い

寄付のお礼

一回の寄付額が5,000円以上の方にはオリジナルデザインの泉州タオル
　　10,000円以上の方にはオリジナルデザインのフライトタグ
継続寄付を登録していただけた方には泉州タオルとフライトタグをプレゼント
＊無くなり次第終了とさせていただきます。

ご支援の使い道

1．関西航空少年団が発展するために必要な諸経費
2．NPO活動を維持するための事務費
3．イベント開催や公益活動を行うための経費
その他記念品の作成や子供達の夢を応援する企画などに使用させていただきます。
＊具体的な活動はホームページをご参照ください。

https://sfakansai.jimdofree.com/

NPO法人
TEAM KIX Aviation

代表理事　澤原 弘輔
連絡先　e-mail:sfa.branding.team@gmail.com
　　tell:090-9618-7446(澤原)
営業時間　土曜　日曜　9:00～17:00

HomePage　facebook　Instagram

AIRIST FAN's Proof

エアリストファンの声

一度は休団してしまった関西航空少年団の"復活"をキーワードに集った新旧役員、走り出したその思いに共鳴して参画した役員が、ハイブリッドエンジンの如く、原動力となり、新たな時代に求められる航空少年団像を創り出してきました。
オフィサーも家族も、関西航空少年団を愛し、風を生み出して支援するファンとして、AIRISTである団員達の成長を証明させていただいています。

入団して一年半になりますが、素敵な役員、団員の方々に恵まれて、たくさんの活動に楽しく参加させていただいています。
航空に関する知識の習得以外にも茶道、スキー、パラグライダーなど新しいことに挑戦したり、仙台研修など、心の成長にもつながるような機会があることが、ありがたいです。
大人から子どもまで、さまざまな年代の方との交流は、これからの学校生活や社会人になった時に、きっと役立つと思います。
私自身も時々団のイベントなどに参加させていただくことがありますが、子どもたちの楽しそうな様子を見ると、関西航空少年団に出会えて良かった！と感じます。
Nakadate

息子は小学１年のころに飛行機好きになり、航空ミュージアムに出かけたりしていましたが、ほどなくしてコロナ禍となりました。飛行機に触れる機会が減ってしまった中航空少年団を知り、4年生で入団できるのを今か今かと待ちわびていました。入団2年目となりますが、同じ興味を持つ仲間と飛行機に乗って出かけたり、語り合えたり、航空知識を学んだりとかけがえのない時間を過ごすことができ、親子ともに幸せを感じています。また団体行動や異年齢の交流を通し、思いがけない息子の成長を見ることがあります。これからの成長が楽しみです！
Kido

団の色々な活動の中で、一番興味を示したのが茶道です。和を丸ごと体験したいからと、浴衣を自分で着れるようになり、茶道の歴史を調べ、相手を想い準備をし、普段からの姿勢に気をつけたりと楽しんで取り組んでいます。
ブループロジェクトでは、人前で話す事が苦手なのですが、プレゼン前には自分なりにまとめ、説明する事が出来るようになりました。時間は人一倍かかりますが、最後までやり遂げようとしている姿はとても頼もしく感じます。
これからも積極的にチャレンジしていって欲しいです。
Yamada

息子は小さい頃から飛行機が大好きで、パイロットになるのが夢でした。そんな息子に最適だと思い、入団させました。入ってすぐにコロナになり、活動が休止したりしましたが、そんな中でも素敵な仲間ができ、貴重な経験もたくさんできました。
もともと人と仲良くなるのは上手でしたが、さらに積極的に人と関わろうとするようになりました。また、人前で自分の考えや気持ちを発表する力もついてきたようで、自分に自信を持てるようになったように思えます。
Kato

「ブルーインパルスを大阪の空に！」の思いを胸に、さまざまな活動に取り組んでいる子どもたちの目はキラキラと輝いています。
松島基地で実際にブルーインパルスを見学したり、ピーチ航空初のチャーターフライトに搭乗したりと、普段ではできないことがたくさん経験でき、子どもたちの夢はどんどん広がっています。
また、航空関連以外の野外活動や奉仕活動も多く行なっており、仲間と共に日々成長していく姿はたくましく、また頼もしくもあります。
サポーターとして、これからも子どもたちを応援していきたいと思います！
Nishimi

小学生４年生で入団した当初の娘は学校では集団活動が苦手なタイプ子でした。航空少年団では協調性や団体活動が自然に身に付くのではと思いました。今は中学生になり活動に参加できないことも多いのですが、活動で年齢層も幅広く指導員の方や年下の団員との関わりなど沢山の事を学んでいます。学校や家庭ではできない、色々な体験や講座などほんとうに航空少年団に入団できたことに感謝しています。
Fukushima

関西団に入団して、2年半がたちました。仙台へ行ってブルーインパルスの飛行訓練を見たり、セスナに乗ったり、スキーに行ったりと様々な体験をさせていただきました。初めての物事にはあまり積極的なタイプではありませんでしたが、関西団での活動は初めての連続で、それらを楽しむことで、やったことがないからやってみようという考え方ができるようになったと思います。これからも学校では出会えない人達と関わることで、多くのことを吸収してくれたらな、と思います。
Yamaguchi

BE AIR 5th Flight発行趣旨

航空少年団は、"かぎりなくひろがる大空"に夢と希望をいだく青少年に、規則正しい団体活動の中で、航空および宇宙の基礎的な知識を習得するための航空業界にかかわる方々との交流、航空機や、航空の安全を守る様々な施設の見学、様々な手法による飛行体験などを通じて、空の魅力を実感しながら航空宇宙の知識を深めていただくことで、身近な地域社会をはじめ未来の航空業界で活躍する有為の人材育成を成し得、延いては日本の航空業界の発展に寄与することを目的に活動する団体です。

関西航空少年団では、関西国際空港を拠点にその対岸エリアを中心に航空関連の学習や体験のみではなく、野外活動・奉仕活動、家族・他団体との交流活動などを行っています。日常生活では体験することのできない活動や、団体活動をもって、問題解決能力を育み、勇敢で、思いやりのある人間性を養い、心身の成長をめざしています。

さて、関西航空少年団は多くの方々のご支援により、活動休止から再出発を果たし、2021年で復活5周年を迎えました。お陰様で団員数も増加傾向にあり、ようやく活動の体を成すことができてまいりました。そこで、上記に掲げた目的を達成することに加え、お世話になっている地域、航空業界に貢献させていただきたく、活動領域を拡大してまいりました。
具体的には、活動をより多くの方々に知っていただくことで、支援者の拡大に努めるとともに、活動のさらなる充実化と魅力化によって世の中に必要とされる人材の育成を実現すべく、広告協賛型の機関紙「BE AIR」を創刊いたしました。

活動拠点空港の関西国際空港を中心とした経済圏で、経済循環を促しながら、次代を担う人材育成・確保の土台を築き上げることで、SDGsが掲げる、そして新時代が求める持続可能な多文化共生社会を実現できると確信しています。

「AIR」という単語、それを用いた熟語の意味を総合的に捉え、「団員達に、空や飛行機とかかわることができる人物になってもらえることはもちろん、空気のように澄み渡り、生命にとってなくてはならない存在、大空やあらゆる世界へ拡がる存在、になってもらいたい」という想いを込めました。

このBE AIRを通して航空産業と地域産業、民間団体、行政、志ある方々の和を創出することで、下記に掲げる「AIR Mission」の遂行に努めてまいります。やがてはその和を、新たなコミュニティの輪とする「空の町屋 TEAM KIX Aviation構想」の実現にも努めてまいります。

ぜひ、私たちの活動趣旨、そして新時代における活動構想にご賛同、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

AIR Mission

Ⅰ 関西航空少年団の活動のさらなる充実化とプロモーション強化
Ⅱ 航空業界に関心のある若い世代の育成による関西国際空港をはじめ航空業界における人材不足問題の解決への貢献
Ⅲ 関西国際空港、航空業界の発展への貢献で地域内経済の循環創出と活性化
Ⅳ 幅広い世代に航空業界をはじめ地域内産業のお仕事を知ってもらうことで地域内産業における人材育成と確保
Ⅴ 対岸エリアの地域経済や地域社会・コミュニティを支える各主体と関西国際空港及び関西国際空港関連の地域並びに業界との架け橋としてのプレゼンスを確保することで、南大阪のさらなる活性化

次ページからご協賛いただいた企業様・団体様・個人様を掲載させていただいております